



洗足学園音楽大学

2022年度

学部3年次編入学試験要項

音楽学部

目次

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー) 2～3
 感染症予防に関する受験生の皆さまへのお願い 4
 入試説明動画について

1 試験概要 5～6

2 出願 7

出願に必要な書類及び注意事項…………… 7
 個別の入学資格審査について…………… 8
 受験時特別措置
 出願から入学手続までの流れ…………… 9
 Web出願の手順…………… 10～13

3 受験方法について 14

4 受験にあたっての注意事項 16

試験当日の注意点…………… 16
 練習について
 学校保健法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

5 合格発表 17

6 入学手続 17

学校案内図・宿泊案内…………… 18

■ 個人情報の取扱いについて

出願にあたってご記入いただいた住所・氏名・生年月日・性別・成績証明書に記載された内容等の個人情報は
 ①入学試験の実施及び結果の通知
 ②大学の情報等の送付業務(発送業務の外部委託を含む)
 ③入学後の学籍管理、学習指導及び学生支援関係業務の目的に限り使用致します。
 出願された方からの照会や訂正・削除を希望される場合には、速やかに対応致します。

コース別専門試験科目 19～42

作曲…………… 20
 音楽・音響デザイン…………… 21
 ピアノ…………… 22
 管楽器(木管)…………… 23
 管楽器(金管)…………… 24
 弦楽器…………… 25
 打楽器…………… 26
 電子オルガン…………… 27
 ジャズ…………… 28～30
 現代邦楽…………… 31
 ロック&ポップス…………… 32
 声楽…………… 33
 ミュージカル…………… 34
 バレエ…………… 35
 ダンス…………… 36
 ワールドミュージック…………… 37～39
 声優アニメソング…………… 40
 音楽教育…………… 41
 音楽環境創造…………… 42

提出楽譜作製方法 43

譜例・課題譜等 44～49

管楽器 スケール譜例…………… 44～45
 打楽器 スケール譜例…………… 46
 ロック&ポップス基礎打ち譜例…………… 47
 打楽器コース 楽器配置図記入例…………… 48
 ミュージカル 演技課題…………… 49

オンライン入試について 51

入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

■ 建学の精神

「若き学徒をして、真の人生の目的に目覚めさせ、さらに人間の天職を悟らせ、謙虚にして慈愛に充ちた心情(謙愛の徳)を養い、気品高く、かつ実行力に富む有為な人物を育成する」

■ 目的

本学は教育基本法及び学校教育法にのっとり、深く専門の学芸を教授研究し、その応用的能力を展開させるとともに、幅広く深い教養を培い、建学の精神に基づいて人格を陶冶し、謙愛の徳を備え、気品高く、国際的視野に立ち、実行力に富む人材を育成し、もって文化の向上に寄与することを目的とします。

■ 人材養成及び教育研究上の目的

音楽学部は、音楽の探求により、高い芸術性、専門分野の知識・技術を修得するとともに、日々の地道な研鑽を積み重ねる中、個性と創造性を発揮しながら「主体的な学び」を実践することで、人生の目的、本当の自分を見出し、豊かな人間性と実行力を備え自立した人間を育成することを目的とし、次の各号にかかげる事項を教育目標とします。

- (1) 音楽家としての基本的な演奏技術・表現技法を修得し、プロフェッショナルを目指すアーティストとしてスタートラインに立てる水準に達すること。
- (2) 世界の様々な地域、民族、時代の音楽を受容し理解することで、豊かなイマジネーションを醸成し、幅広い視野を持った人材となること。
- (3) 数多くの演奏会の企画・運営・実施に参加することで、実践を通して実社会への適応力、問題解決力、コミュニケーション能力を培うこと。
- (4) 教育指導者として、音楽を通じ、情熱と感動をもって次代を育てる教育知識・技術を修得し、豊かな人間性を涵養すること。

■ 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

大学

本学は、「理想高遠 実行卑近」を建学の精神とし、「主体的な学び」を実践することで、豊かな人間性と実行力を備え自立した人間を育成することを目的としています。

建学の精神と教育目的を理解し、音楽の探求により、高い芸術性、専門分野の知識・技術を修得するとともに、自らの演奏・表現能力を高める意欲を持つ人材を、広く求めます。

音楽学部

- (1) 基本的な演奏技術・表現技法を有し、将来的にプロフェッショナルを目指す人材、及び音楽を深く愛し、自己の研鑽に意欲的である人材。
- (2) 主体的に学ぶ姿勢を持ち、世界の様々な地域、民族、時代の音楽を受容し、理解しようとする人材。
- (3) 仲間とともに数多くの演奏会・公演の企画・運営・実施に参加し、実践を通して実社会への適応力、問題解決力、コミュニケーション能力を習得しようとする人材。
- (4) 音楽に対する強い情熱と感動を持ち、指導者として必要な知識・技術・人間性を身につけようとする人材。

各コースの入学受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

入学受入れの方針 (アドミッション・ポリシー) を踏まえて、本学の各コースが具体的に求める人材は次の通りです。

作曲	作品を書く基礎となる、和声学を始めとした正格な各種書法の訓練を根気強く続けることの出来る学習意欲、かつ創造性に根ざした創作意欲のある人材。
音楽・音響デザイン	現代のミュージック・シーンにおける作曲、編曲、録音、映像演出など音楽制作に関わる分野に深い関心を持ち、ミュージッククリエイターとして、必要な知識と技術の習得に強い意欲を持って取り組むことが出来る人材。
ピアノ	基礎的な演奏技術を有し、数あるピアノ作品に対し深い探究心を持つ者で、本学の幅広い音楽環境にて研鑽を積み、更なる技術の向上を目指し、演奏、教育の面で社会に貢献できるようになりたいという熱意と夢を持つ人材。
管楽器	基礎的な演奏能力を有し、より高度な演奏技術や知識、教養に対し深い探究心を持っている者で、ソロ演奏へ取り組むのはもちろん、吹奏楽・オーケストラ・室内楽等、合奏においても実践的な合奏技術の習得に意欲的に取り組み、プロ演奏家や指導者として活躍する夢と希望を持った人材。
弦楽器	基礎的な演奏能力を有し、レッスンや、弦楽合奏・オーケストラ・室内楽等の合奏授業を通し、各楽器のより高度な奏法・知識そして、音楽家としての教養を深めることに意欲を持って取り組むことが出来る人材。
打楽器	基礎的な演奏能力を有し、高度な演奏技術を身に付けることや知識、教養を深めることに意欲があり、吹奏楽・オーケストラ・室内楽等、合奏を経験し、アンサンブルの技術の習得に意欲を持って取り組むことが出来る人材。
電子オルガン	基礎的な演奏能力と即興能力を有し、クラシックからポピュラーまで幅広いジャンルに興味を持ち、演奏技術と音楽理論の高度な専門性と、音楽表現の可能性についての幅広い視野とスキルを身に付けることを目指す人材。
ジャズ	ジャズに深い関心を持ち、基礎的な演奏能力を有する者で、即興的な演奏(歌唱)能力を獲得する強い意志を持ち、また創造的かつ高度な音楽表現を求める探求心を持っている人材。
現代邦楽	邦楽に関する基礎的な知識と高度な演奏能力を有し、日本の伝統音楽を通じて積極的に社会と関わり、音楽文化の発展に貢献しうる演奏家や教育者を目指す人材。
ロック&ポップス	基礎的な演奏能力を有し、周りとの協調性を保ちつつミュージシャンに必要な個性をアピール出来る者で、様々なジャンルの音楽や楽器(パート)の知識、経験の習得に積極的に取り組むことが出来る人材。
声楽	基礎的な知識と歌唱力を有し、声楽を中心とした音楽芸術に興味を持つ者で、表現力や技術力を磨き、将来、演奏家、合唱指導者や教育者として、我が国のみならず国際的なレベルでも活躍し、広く社会に貢献することを目指す人材。
ミュージカル	ミュージカルを中心とした舞台芸術に関心を持ち、舞台人として必要な資質と可能性を持つ者で、将来幅広く世界で通用するプロフェッショナルなミュージカル俳優を目指す人材。
バレエ	バレエを中心とした舞台芸術に関心を持ち、舞台人として必要な資質と可能性を持つ者で、将来幅広く世界で通用するプロフェッショナルなダンサーを目指す人材。
ダンス	ダンスを中心とした舞台芸術に関心を持ち、舞台人として必要な資質と可能性を持つ者で、将来幅広く世界で通用するプロフェッショナルなダンサーを目指す人材。
ワールドミュージック	基礎的な演奏能力を有し、より高度な演奏技術、表現力の習得へ向けて研鑽を積み、新たな音楽の可能性を探究することができる人材。
声優アニメソング	アニメーションを中心とする日本独自の芸術文化に興味を持ち、声優、アニメソングのアーティストとして活躍するために、「音声」を軸とした表現力の獲得に強い意欲を持って取り組むことが出来る人材。
音楽教育	中学校・高等学校の音楽教員、その他、学校教育や生涯学習および周辺業界に深い関心を持ち、音楽を通じた教育活動やコミュニケーション活動の企画や実践を推進するための知識や技術の修得に、強い意欲を持って取り組むことが出来る人材。
音楽環境創造	舞台芸術における音響、照明、舞台監督、スタッフワーク、マネジメントなど制作に関わる分野に強い関心を持ち、新しいテクノロジーに柔軟に対応できる舞台人として、音楽を中心とした文化芸術の環境創造を志す人材。

感染症予防に関する受験生の皆さまへのお願い

- ①入学試験当日までに、新型コロナウイルスや、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し医師が治癒したと診断していない受験生は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがあるため、原則受験をご遠慮いただきます。
- ②症状の有無にかかわらず、各自マスクを持参し、試験会場では常に着用してください（写真照合時を除く）。また、休憩時間等における他者との接触、会話は極力控えてください。
- ③試験会場に備え付けの消毒製剤等で、手指のアルコール消毒をこまめに行ってください。
- ④試験日の1週間程度前から、朝などに検温を行い、体調変化の有無を確認してください。発熱・咳等の症状がある受験生は、予め医療機関で受診をしてください。
- ⑤試験日の前から継続して発熱・咳等の症状がある場合、また、試験当日の検温で37.5度以上の熱がある場合は、当初予定していた試験日程ではなく、別の日程・別の入試区分で受験を検討してください。この場合、入学検定料を追加で納めていただく必要はありません。また、37.5度未満でも、倦怠感や咳等の症状がある受験生は、その旨を事前に本学入試センターへ申し出てください。
- ⑥試験会場への入場者数や集団の形成を極力抑制する観点から、受験生及び助演者以外の保護者等は、集合場所・試験会場及び練習室への立ち入りはできません。また、保護者控室の準備はありませんので、予めご了承ください。

入試説明動画について

洗足学園音楽大学のホームページで、以下の動画をご覧くださいことが可能です。

Web入試説明・オンライン受験説明

<https://www.senzoku.ac.jp/music/admission/movie2022>



1 試験概要

募集人員	5名
募集コース	<p>作曲 音楽・音響デザイン ピアノ</p> <p>管楽器(木管) フルート/オーボエ/クラリネット/ファゴット/サクソフォーン ※吹奏楽指導者マスタークラスの募集も行います。</p> <p>管楽器(金管) ホルン/トランペット/トロンボーン/ユーフォニアム/テューバ ※吹奏楽指導者マスタークラスの募集も行います。</p> <p>弦楽器 ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス/ハープ ※吹奏楽指導者マスタークラスの募集も行います。</p> <p>打楽器 ※吹奏楽指導者マスタークラスの募集も行います。</p> <p>電子オルガン</p> <p>ジャズ フルート/クラリネット/サクソフォーン/トランペット/トロンボーン/ ギター/ピアノ/ベース/ドラム/その他の楽器(ヴォーカル等) ※ヴォーカル以外の楽器を希望する場合は、入試センターまでお問い合わせください。</p> <p>現代邦楽 箏/三味線/尺八/横笛/和太鼓/邦楽打楽器/琵琶/その他の楽器</p> <p>ロック&ポップス ヴォーカル/ギター*1/ベース*2/ドラム/パーカッション*3/ キーボード/シンガーソングライター ※1 エレクトリック・ギターまたはスティール弦のアコースティック・ギターに限定 ※2 エレクトリック・ベースに限定 ※3 コンガ、ティンバレス、ジェンベ、カホンに限定</p> <p>声楽 ※コーラスアンサンブルクラスの募集も行います。</p> <p>ミュージカル</p> <p>バレエ</p> <p>ダンス</p> <p>ワールドミュージック</p> <p>声優アニメソング</p> <p>音楽教育</p> <p>音楽環境創造</p>
出願資格	<p>次のいずれかの条件を満たす者。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学の音楽学部、芸術学部および音楽に関する課程のある学部を卒業した者。または2022年3月卒業見込みの者。 2. 大学の音楽学部、芸術学部その他の学部で音楽に関する課程に2年以上在学し、62単位以上を修得した者。または2022年3月で2年以上在学し、62単位以上修得する見込みである者。 3. 短期大学の音楽学科、芸術学科及び音楽に関する課程のある学科を卒業した者。または2022年3月卒業見込みの者。 4. 本学音楽学部において、個別の入学資格審査により、その他大学の音楽学部を2年以上修了した者、または短期大学の音楽学科を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。 ※詳細は、P.8を確認してください。
選考方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. コース別専門試験(P.19～49参照) 2. 面接 3. 小論文(テーマ… 当日提示、文字数… 1,200字程度、時間… 60分) ※本学の指定する大学・短大から推薦を得て出願した者は、小論文の試験を免除とします。
受験方法	<p>通常入試(対面式)またはオンライン入試の選択が可能です。 ※出願時に、受験方法を選択してください。</p>
入学検定料	20,000円 ※別途、手数料が必要です。

出願期間 出願方法：Web出願* 出願書類の送付：郵送 (消印有効)	2022年1月11日(火)～2022年1月25日(火) 本学の出願方法は、Web出願のみです。 ※ Web出願の入力は、 <u>出願期間最終日の21時まで、入学検定料の支払いは24時まで可能です。</u> Web出願(「大学出願ネット」)の事前登録は、9月以降可能となります。 ※オンライン入試を希望する場合、動画提出期限がありますのでP.53をご確認ください。
試験日程	2022年2月11日(金・祝)・12日(土) ※ 試験日を選択することはできません。
合格発表	2022年2月16日(水)
入学手続期間	2022年2月17日(木)～2022年2月28日(月) ※ 手続期間中に入学手続時納入金を納めるほか、入学手続書類の提出が必要です(P.17参照)。
編入時期 および 修業年限	1. 編入時期は2022年4月1日とし、3年次に編入学するものとします。 2. 修業年限は2年とします。
編入学後の 単位認定	編入前の在籍校・大学で修得した単位のうち、本学が開設する教養科目および専門科目に該当すると判定した科目の単位を、卒業に必要な単位として認定します。
単位認定の 事前相談	編入学後の単位認定について、事前に相談を受けてください。 ●12月3日(金)までに、出願予定のコース・楽器・教職課程の希望の有無を明記し、以下の書類①～⑤を入試センター宛に郵送してください。相談には時間を要するため、できるだけ早めに提出してください。 ※個別の入学資格審査を希望する方は、締切日が異なります。詳細は、P.8を確認してください。 ① 成績証明書または単位修得証明書(既修得単位数が明記されたもの) ② 履修証明書…修得見込の単位数が明記されたもの(①の成績証明書等に修得見込みの単位数が明記されている場合は不要) ③ 出身学校での履修授業概要(シラバス、カリキュラム表、履修の手引き 等) ※ 単位修得済及び履修中のすべての科目について、履修科目名・履修年次・単位数・授業内容を示す書類をコピーし、①・②の証明書の科目名記載順に並べ、提出してください。 ※ <u>履修要項等、1単位あたりの授業時間数が確認できる書類を必ず提出してください。</u> ●以下は、教職課程の履修を希望する方のみ提出が必要です。 ④ 学力に関する証明書(教育職員免許法施行規則に則した教育職員免許状申請様式) ※ 本学編入学後に、教職課程の履修を希望する者、中学校・高等学校の教員免許状が取得可能な出身校で、教職関係科目の単位を修得または修得見込みの者は提出してください。 ⑤ 出身学校での教職課程カリキュラム表(出身学校において教職課程を履修していなかった者は不要) ●後日、認定可能な単位の見込みを連絡いたします。 ●修得単位数によっては、卒業のために編入学後2年を超える在学年数が必要となる場合があります。 ●教職課程の履修を希望する場合、修業年限は最低3年を要します。

2 出 願

出願に必要な書類等

出願にあたり、以下の書類の郵送及びアップロードが必要です。書類をアップロードする際は、必ずPDF形式に変換してください。Web出願の登録・必要書類のアップロード、及び必要書類の郵送が全て完了した時点で出願完了となります。

提出書類		郵送	アップロード	注意事項
全 員	出願資格を証明する書類 卒業・修了(見込)証明書または 在学証明書	○	×	1. 学校長が発行したもの。 2. 出願以前3ヶ月以内に発行されたものを提出してください。 3. 修得済み、修得見込みの科目がすべて記載されていること。 4. 成績証明書に修得見込みの科目が記載されていない場合、別途、単位修得見込証明書(履修科目証明書)を提出してください。 5. 出願時点で、修得見込みの科目まで記載された証明書が提出できない場合は事前に必ず本学入試センターまで連絡してください。 6. 氏名は戸籍に記載の文字と同一のものが必要となりますので、発行申込時に注意してください。
	成績・単位修得(見込)証明書	○	×	
共 通	推薦書	○	×	1. 本学の指定校となっている短期大学から出願する者のみ提出。 2. 学校長が発行したもの。 3. 出願以前3ヶ月以内に発行されたものを提出してください。
	志願確認票	○	×	大学出願ネットの「出願状況」ページから各自ダウンロードの上、A4サイズ(カラー)で2枚印刷してください。1枚は郵送用、もう1枚は本人控えです。
	郵送用宛名ラベル	○	×	Web出願ページからダウンロード後、A4サイズ(カラー)で印刷してください。
該 当 コ ー ス の み 提 出	楽譜	○	×	<ul style="list-style-type: none"> 電子オルガンコースの受験生は、実技試験時に楽譜を提出してください。(郵送の必要はありません) ロック&ポップス(ヴォーカル・ギター・ベース・キーボード・シンガーソングライター)コースの受験者は、出願時に楽譜を提出してください。 ミュージカルコースで伴奏が必要な受験生は、出願時に楽譜を提出してください。 ワールドミュージックコースの受験生は、出願時に楽譜を提出してください。 ※提出楽譜の作製方法は、P.43を参照してください。
	楽器配置図	×	○	打楽器コースの受験者は、Web出願ページより「打楽器コース 楽器配置図」をダウンロードの上、P.48の「打楽器コース 楽器配置図記入例」を参考に、記入してください。記入後、Web出願の際にデータをアップロードしてください。
外 国 人 留 学 生	パスポート	×	○	氏名・生年月日・写真・パスポート番号・有効期限が記載されたページをアップロードしてください。
	在留カード	×	○	両面をアップロードしてください。 ※出願時に、日本国内在住者のみ提出してください。日本国外に在住の方は、提出不要です。
	「日本語能力認定書」または「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」	×	○	日本語能力検定試験(JLPT)のN2以上に合格している方は、アップロードしてください。 ※日本語能力試験(JLPT)を受験していない方、上記の書類を提出できない方も、出願は可能です。

出願書類に関する注意事項

- ① 証明書類は、日本語または英語で作成された原本を提出してください。それ以外の言語で作成された証明書類しか提出できない場合は、日本語または英語の翻訳を作成し、正しく翻訳されたものであることを証明する、「翻訳証明」を添付してください。「翻訳証明」は、証明書の発行機関・大使館等または国で認可された公証役場・翻訳機関等で公証印を受けたもののみ認めます。
- ② 改姓等の理由により、証明書等に記載されている氏名と出願時の氏名が異なる場合は、同一人物であることが確認できる公的書類(戸籍抄本等)の原本を添付してください。
- ③ PDFデータをアップロードする際は、記載内容が、はっきり読み取れるようにスキャンを行ってください。不鮮明なデータ、解像度が粗いデータ等は、書類不備として受理しない可能性があります。
- ④ 提出された書類及び出願情報に虚偽の記載があった場合は、判明した時点で資格(出願・合格・入学)を取り消します。
- ⑤ 外国の大学で卒業(見込)証明書が発行できない場合は、卒業証書の「原本証明がなされたコピー(certified true copy)」を提出してください。
(注)「原本証明がなされたコピー(certified true copy)」:
原本のコピー(複写)であることを、当該証明書の発行機関、大使館または国で認可された公証役場等の公的機関が、原本のコピー(複写)であることを確認した旨を記載し、機関印を押印して証明した書類です。翻訳会社・日本語学校は、原本証明を行う機関とは認められません。
- ⑥ 中国の大学を卒業(修了)した受験生は、卒業証書の「原本証明がなされたコピー」及びCHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する、英文の「学歴認証報告書」を提出してください。
 - ・「学歴認証報告書」は、CHSIから直接「entry@senzoku.ac.jp」にメールで届くよう、手続を行ってください。
 - ・詳細は、CHSIのWebサイト(<https://chsi.com.cn/>)で確認してください。
- ⑦ 日本国外から出願書類を郵送する場合は、出願締切日までに書類が本学に到着するよう、余裕をもって発送してください。
- ⑧ 提出された書類は、原則返却致しません。

個別の入学資格審査について

P.5の出願資格4.により出願を希望する者には、出願前に個別の入学資格審査を行います。以下の書類を、期日までに本学入試センターまで提出してください。なお、入学資格審査には入学検定料は必要ありません。

1. 申請期間

原則、以下の期日までに本学入試センターまで必要書類を送付すること（郵送必着）。
2021年10月29日（金）

2. 申請方法

以下の書類を全て提出すること。

- ① 個別入学資格審査申請書（本学ホームページから、所定の用紙をダウンロードすること）
- ② 履歴書 ※学歴・音楽学習歴・活動（演奏）歴・コンクール受賞歴等を明記すること。学歴は中学卒業から記入すること。形式は自由。
- ③ 卒業・修了（見込）証明書または在学証明書
- ④ 単位認定の事前相談に必要な書類一式 ※P.6「単位認定の事前相談」欄参照
- ⑤ 履歴書に記載の学習歴・受賞歴、資格等を証明できる書類がある場合は提出すること。
- ⑥ 返信用封筒（長型3号封筒、申請者の氏名及び宛先明記、374円分の切手貼付）

3. 書類提出先

〒213-8580 神奈川県川崎市高津区久本2-3-1
洗足学園音楽大学 入試センター
※「学部3年次編入学試験 個別入学資格審査申請書類在中」と朱書きのこと

4. 審査結果

12月末までに、申請者本人宛に郵送で通知します。

5. 出願時の注意事項

個別の出願資格審査で出願を認められた者は、出願時に「出願資格認定通知」の写しを提出すること。

受験特別措置

受験特別措置について

身体機能の障害や疾病等により、受験および就学に際して特別な措置を必要とする場合は、下記の(1)～(8)までの事項を記入した申請書（書式自由）に必要書類を添付し、本学入試センター宛てに郵送してください。申請が受理された後、必要に応じて、出願者または在籍（出身）の高等学校関係者と面談を行う場合がありますので、出願開始日までに余裕をもって提出してください。

【受験特別措置申請に記載が必要な事項】

- | | |
|----------------------|----------------------|
| (1) 氏名 | (5) 障害の種類・程度 |
| (2) 住所・連絡先 | (6) 受験上の特別な措置を希望する事項 |
| (3) 在籍（出身）校名 | (7) 修学上の特別な措置を希望する事項 |
| (4) 出願する入試区分・コース・楽器名 | (8) その他参考となる事項 |

【必要書類】

- (a) 身体障害者手帳のコピー
 - (b) 医師の診断書
- (a)、(b)のいずれかを添付してください。

出願から入学手続までの流れ

本学の出願方法は、Web 出願のみです。出願から入学手続までの流れは、以下の通りです。

1. 出願資格の確認



- P.5で、出願資格を確認してください。
- 12月3日(金)までに、単位認定についての相談を受けてください(P.6参照)。
- P.5の出願資格4.により出願を希望する受験生は10月29日(金)までに入学資格審査を申請する必要があります(P.8参照)。

2. 入試情報サイトにアクセス



- Web出願の詳細は、P.10~13を確認してください。

3. 新規出願登録



- 「大学出願ネット」から新規出願登録を行ってください。メールアドレス、個人情報の登録、顔写真データのアップロード、出願情報の登録等が必要です。

4. 入学検定料の支払い



- コンビニエンスストア、クレジットカード、銀聯カード、Pay-easyのいずれかで支払いを行ってください。

5. 必要書類の郵送またはアップロード



- 必要書類を、郵送またはアップロードで提出してください。

6. 受験票の発行



- 受験票を印刷の上、入試当日に持参してください。

7. 受 験



8. 合格発表



- 合格発表日の13時に、大学出願ネットの「出願状況の確認」から合否確認を行うことができます。

9. 入学手続

- 手続期間内に学納金の納入を行い、入学手続書類を提出してください。

Web出願の手順

インターネットに接続されたPC、スマートフォン、タブレット端末等を準備の上、本学ホームページよりWeb出願システムにアクセスしてください。

出願の 事前準備

》 ①～⑦を用意してください



① インターネットに接続されているパソコン、スマートフォン、タブレット端末等
セキュリティ的な観点から、ブラウザやOSは最新のものにアップデートしてご利用ください。
以下のブラウザでのご利用を推奨します。

- Windows…Edge/Google Chrome(最新版)/Mozilla Firefox(最新版)
- Macintosh…Safari 7.0以降
- iOS 10以降
- Android 8以降



② 利用可能なメールアドレス(自分専用のアドレス)

登録や受験までに必要な情報がentry@senzoku.ac.jpから送信されます。
(①のパソコンとは異なる、携帯電話等のアドレスでも可)。



③ PDFデータを開くためのアプリケーション

Adobe社の「Adobe Acrobat Reader」、
「Adobe Reader」を推奨します。



④ A4サイズが出力できるプリンター

受験に必要な「志願確認票」や「受験票」などを出力します。
※コンビニエンスストア等で、ネットワークプリント対応のマルチコピー機を利用しても可です。



⑤ 必要書類の準備

必要書類の詳細は、P.7を確認してください。



⑥ 顔写真データ(登録時に使用します)

写真は3MB以下のjpgファイルをアップロードしてください。
顔写真を郵送する必要はありません。



⑦ 封筒

市販の角形2号サイズの封筒(24cm×33.2cm)を用意してください。

Step

1

》 本学ホームページの入試情報サイトにアクセス

ホームページトップ⇒入試案内⇒Web出願

https://www.senzoku.ac.jp/music/admission/web_application
「Web出願」のリンクをクリックしてください。「大学出願ネット」のページに移動します。

※大学出願ネットは、株式会社スクールパートナーズが運営するWeb出願サービスです。
※Web出願ページの詳細は、2021年8月頃より公開予定です。

Step

2

》 新規出願登録

- ①メールアドレス(携帯・PC可)を入力の上、送信してください。
- ②登録したアドレス宛に、確認コードが届きます。確認コードを入力の上、画面の指示に従い次に進んでください。

Step

3

顔写真のアップロード

顔写真のデータを準備の上、登録画面上にアップロードしてください。



表示されているガイドライン線に沿って、枠内に正しく顔が入るように拡大・縮小を行ってください。

顔写真データについて

出願以前3ヶ月以内に撮影したもので、上半身、正面、脱帽、背景は無地に限りです。
個人が特定しづらいものは使用できません。

○適切な写真例



- 背景は無地とし、白、青またはグレーの壁で撮影してください。
- 壁に近づき過ぎると、影が濃く出て、輪郭がわからなくなる恐れがあります。ご注意ください。
- フラッシュを使用すると顔全体が白くなり過ぎ、陰影がなくなる場合があります。ご注意ください。
- 撮影データをCDで提供する写真店のサービスの利用が便利です。

×不適切な写真例

以下のような写真は受付できませんので、必ず撮り直してください。

×



被写体が小さい

×



画質が粗い

×



写真サイズが横に長い

×



背景に家具等が写っている

×



頭上の余白部分が多い

×



証明写真の再撮影

その他

- データ容量が極端に小さい(100KB以下)
- 保存形式がjpgではない

[参考]

自分で撮影した写真をパソコンに移す方法

デジタルカメラやスマートフォン等で撮影した写真をパソコンに転送してアップロードすることができます。



■デジタルカメラからパソコンへ

1. メモリーカードを使う
パソコンにメモリーカードスロットや、別途メモリーカードリーダーがあれば、デジタルカメラのメモリーカードから写真を移すことができます。
2. 直接デジカメとパソコンをつなぐ
デジタルカメラ付属のUSBケーブルを使い、写真を移すことができます。

■スマートフォンの画像からパソコンへ

3. SDカードに画像をコピーしてから移す
SDカードに対応したスマートフォンの場合、本体からSDカードを取り出し、SDカードリーダー等でパソコンに移すことができます(※iPhoneは不可)。
4. メールに添付して送る
撮影した写真をメールに添付してパソコンで閲覧できるアドレスに送信します。

5. USBケーブルを使う
USBケーブルで直接パソコンにつなぐと、パソコンが携帯電話を外部記憶装置として認識します。その状態で写真を移します。

※PCの機種やOSによって操作方法が異なる場合があります。不明な場合は取扱説明書等をご確認ください。

Step

4

個人情報を入力

画面の入力指示に従って、氏名・住所・学歴等を入力してください。

Web 出願の手順

Step

5

》 出願情報の登録

- ①「出願する」を選択
- ②入試制度(学部3年次編入学試験)、志望コース等を選択
- ③コース毎に、必要な情報を入力

通常入試(対面式)またはオンライン入試を選択していただけます。



Step

6

》 入学検定料の支払い

入学検定料は20,000円です。
以下のいずれかの方法でお支払いが可能です。

クレジットカード・銀聯カード



上記カードを利用してお支払いが可能です。
※カードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。

コンビニエンスストア



LAWSON

Seicomart

あなたと、コンビニに、

FamilyMart

上記コンビニエンスストアでお支払いが可能です。

ペイジー



ペイジー対応のインターネットバンキングやモバイルバンキング、ATMで支払いが可能です*。

○入学検定料の支払い期限は、各出願期間最終日の24時です。

- 入学検定料の他に、手数料550円が必要です。
- 出願期間内に入学検定料の支払いが確認できなかった場合は、出願情報が無効になります。
- 入学検定料の入金後は、登録内容の変更はできません。
- 一度納入された入学検定料は、原則返還できません。

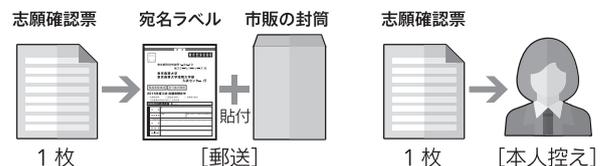
※利用可能な銀行や郵便局は、ペイジーのホームページでご確認ください。

Step

7

》 「志願確認票」「宛名ラベル」の印刷

入学検定料の決済方法選択が完了すると、「出願状況の確認→出願状況一覧→詳細確認」より「志願確認票」がダウンロードできるようになります。これをA4サイズ(カラー)で2枚印刷してください。1枚は郵送用、もう1枚は本人控えです。同時に、出願書類郵送用の「宛名ラベル(カラー)」を印刷してください。



Step

8

必要書類のアップロード

打楽器コースの受験生・外国人留学生の方は、アップロードが必要な書類があります。詳細は、P.7を確認してください。

※アップロードする際は、必ずPDF形式に変換してください。

Step

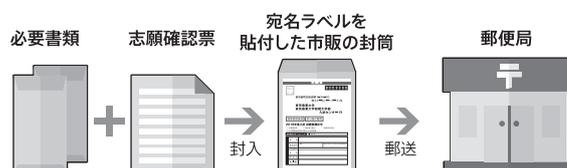
9

必要書類の郵送

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に「宛名ラベル」を貼り、以下の必要書類を封入し、郵便局の窓口から簡易書留速達で郵送してください。

出願に必要な書類(詳細は、P.7参照)

- ①出願資格を証明する書類
- ②推薦書(指定校推薦で受験する場合)
- ③志願確認票
- ④楽譜(提出が必要なコースのみ)
- ⑤その他、コース毎に必要な書類



Step

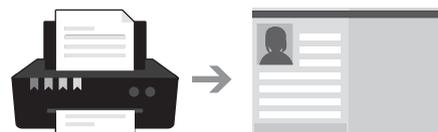
10

受験票の印刷 (試験当日に持参)

出願締切後に、受験票の印刷が可能となります。受験票の印刷が可能となった段階で、登録したメールアドレス宛にお知らせが届きますので、**A4 サイズ (カラー)** で印刷の上、**入試当日に必ず持参してください。**

受験票には、入試当日の集合時刻・場所等が記載されていますので、必ず確認してください。

※受験票を志願者本人以外が使用した場合や、受験票に何らかの書き込みがされている場合は、不正行為とみなします。



出願完了

「大学出願ネット」で入学検定料の決済方法選択が完了すると、「出願状況一覧」が作成されます。「出願状況一覧」では、出願内容、入学検定料の入金状況および必要書類の提出の有無などを確認することができます(大学出願ネットへログインする際は、登録したパスワードが必要となります)。



出願に関する注意事項

- ①出願データの有効期限
登録された出願データは、入学検定料の支払いがないまま支払期限を過ぎると無効となります。(氏名、連絡先などの個人情報は除きます)
- ②漢字などの登録エラー
住所・氏名などの情報を入力する際、JIS第1水準・第2水準以外の漢字は登録エラーになります。例) 高、崎など。その際は、高→高、崎→崎のように、代わりの文字で入力してください。
- ③出願情報の変更(キャンセル(削除) ⇒ 再度出願登録)
出願情報を間違えて登録した場合は、入学検定料の支払い前に限り、ログイン後に「支払状況」からキャンセル(削除)を行い、再度正しい内容で出願登録を行うことができます。

3 受験方法について

受験方法は、通常入試（対面式）またはオンライン入試のどちらかを選択することが可能です。

- Web出願の際に、通常入試（対面式）またはオンライン入試を選択していただきます。
- 入試科目ごとに、受験方法を選択することはできません。
- 試験当日の集合時刻等は、試験2日前までにWeb出願システム（大学出願ネット）を通じてお知らせします。試験は、午前8時30分～午後6時の間で実施される予定です（出願状況によっては、多少前後する可能性があります）。

通常入試（対面式）で受験する場合

コース別専門実技

P.19以降のコース別専門実技課題を確認の上、指定された集合時刻・教室に集合してください。

面接

指定された集合時刻・教室に集合してください。

小論文・作文（該当コースのみ）

通常入試（対面式）・オンライン入試共通の入試問題となります。

1. 試験の実施方法及び受験方法
 - ① 当日配布する原稿用紙に、解答を記入していただきます。
 - ② 試験監督員の指示に従い、試験を開始してください。
2. 試験当日の持ち物等
 - ① 受験票
 - ② 筆記用具

音楽環境創造コースの感覚テスト

通常入試（対面式）・オンライン入試共通の入試問題となります。

1. 試験の実施方法及び受験方法
 - ① スマートフォンまたはタブレットを利用して解答していただきます。試験当日は、自分のスマートフォンまたはタブレットを必ず持参してください。
 - ② 試験開始時に、試験問題へアクセスするためのURL等を提示します。
 - ③ 試験監督員の指示に従い、試験を開始してください。
2. 試験当日の持ち物等
 - ① 受験票
 - ② スマートフォンまたはタブレット
 - ③ ヘッドフォンまたはイヤフォン
 - ④ 筆記用具
3. 楽典受験に関する注意事項
 - ・試験実施中、試験画面以外の閲覧は禁止します。
 - ・試験画面の録画及びスクリーンショットの使用は禁止します。
 - ・不審な動き等が確認された場合は、失格となります。
4. その他
 - ・試験会場では、本学指定のネットワーク（Wi-Fi）に接続して受験していただきます。
 - ・原則、試験会場の電源は利用することができません。スマートフォン・タブレットは、バッテリー残量が十分な状態で受験してください。
 - ・やむを得ない事情により、スマートフォンまたはタブレットを持参することができない場合は、本学で用意した機器で受験することが可能です。その場合は、各入試区分の出願締め切り日までに、入試センターまでお知らせください。

オンラインで受験する場合

本学ホームページで、オンライン受験に関する動画をご覧いただくことが可能です。
<https://www.senzoku.ac.jp/music/admission/movie2022>



※オンライン入試の受験方法詳細は、P.51～59を確認してください。

コース別専門実技

動画審査となります。

面接

受験生の自宅または学校等から、スマートフォン・タブレット・パソコンのいずれかを利用して受験していただきます。試験中に第三者が立ち入らない、静かな環境を確保してください。

小論文・作文・音楽教育コースのハーモニー課題・音楽環境創造コースの感覚テスト

受験生の自宅または学校等から、パソコンを利用して受験していただきます。試験中に第三者が立ち入らない、静かな環境を確保してください。

※これらの試験では、スマートフォン・タブレットの利用は認められません。

4 受験にあたっての注意事項

試験当日の注意点

試験当日の持ち物

- 受験票
- 筆記用具
- 時計（時計以外の付加機能のあるものは使用できません）
- 専門実技試験に必要な楽器・機材等
- スマートフォンまたはタブレット（対面式の音楽環境創造コース受験生）
- ヘッドフォンまたはイヤフォン（対面式の音楽環境創造コース受験生）

受験票の携行と保管

受験票は常に携帯してください。受験票を紛失、または忘れた時は入試センターまで申し出てください。なお試験終了後も入学手続き書類に受験番号が必要となりますので、入学手続き終了まで大切に保管してください。

昼食

昼食は必要に応じて各自で用意してください。受験生は学生食堂を控室として利用できます。

交通機関

気象状況や事故などで首都圏の主要な交通機関が運転を見合わせた場合には、試験開始時間の繰り下げ、試験の延期等の対応処置を取ることがあります。その場合は、本学ホームページ (www.senzoku.ac.jp/music/news/)・「大学出願ネット」・メール等でお知らせします。

立ち入りについて

受験生及び助演者以外の保護者等は、集合場所・試験会場及び練習室への立ち入りはできません。また、学内への車両等の乗り入れはできません。お車でのご来学はご遠慮ください。

練習について

練習室の貸出

入学試験開始初日の朝8時から実技試験終了まで、本学の練習施設を無料で利用できます。必ず受験票を携帯してください。

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験当日までに、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、風疹、新型コロナウイルス等）に罹患し医師が治癒したと判断していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがあるため、原則受験をご遠慮いただきます（病状により、医師によって感染の恐れがないと認められた場合は、この限りではありません）。

なお、上記の理由により受験をご遠慮いただいた場合でも、入学検定料の返還、追試等はいりませんのでご了承ください。

5 合格発表

合格発表日の13時に、大学出願ネットから可否の確認を行うことができます。
ログイン⇒「出願状況の確認」⇒「出願状況一覧」⇒「詳細確認」⇒「可否確認」
※可否に関する問い合わせには、一切応じることができません。

6 入学手続

合格者は、入学手続期間内に学納金の納入を行うとともに、入学手続書類を提出する必要があります。

学納金

入学手続期間内に、下表に記載の「入学手続時納入額」の納入が必要です。海外送金の場合、確認に時間を要しますので、できるだけ早く納入手続を行ってください。

締切日を過ぎてからの納入は受け付けられませんので、ご注意ください。

	編入年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期
入学金	200,000円	—	—	—
授業料	745,000円	745,000円	745,000円	745,000円
施設費	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円
合計	入学手続時納入額 1,195,000円	995,000円	995,000円	995,000円

※上記学納金以外に、学生教育研究災害傷害保険料・同窓会費として、71,400円を入学手続時に併せて納入していただきます。
※なお学園では、洗足学園教育振興資金(任意の寄付金)を募集しております。詳細につきましては、入学後にご案内致します。
※在学中授業料その他について変更のあった場合には、新たに定められた金額を納めていただきます。

入学手続方法

- ① 合格者に送付される「入学手続について」に従い、必要書類を提出してください。
- ② 入学手続は、入学手続期間内に必ず行ってください。入学手続締切後の手続は認められませんので、ご注意ください。
- ③ 外国人留学生の方は、住民票または在留カード、及びパスポートのコピーが必要です。
- ④ 入学手続期間内に手続を完了しなかった場合、入学の権利を放棄したものとみなします。

入学辞退

- 入学手続後に入学を辞退する場合は、2022年3月31日(木)午前11時までに本学入試センターで所定の手続を済ませた者に限り、既に納めた学納金(入学金を除く)を返還します。
- 期限内に手続を済ませなかった場合は、理由の如何にかかわらず学納金は返還できませんのでご注意ください。

外国人留学生の在留手続(入国のための手続)について

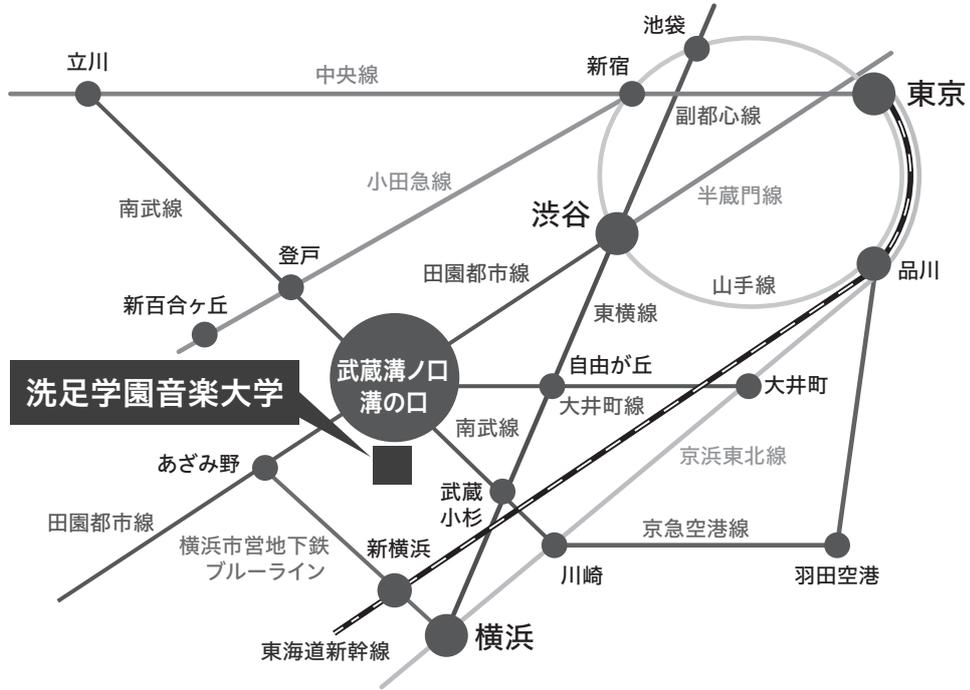
留学生として日本に入国するためには、「在留資格認定証明書(Certificate of Eligibility=COE)」の交付申請を行う必要があります。入学手続を完了した日本国外居住の出願者のうち、希望する者を対象に「COE」の代理申請を行います。入国までの流れは、以下の通りです。

- (1) 合格者は、入学手続時にお知らせする、代理申請に必要な書類を大学に提出してください。
- (2) 必要書類到着及び入学手続完了後、洗足学園音楽大学より入国管理局に「COE」の代理申請を行います。
※COEの交付には通常1～2ヶ月を要するため、代理申請を希望する場合は速やかに必要書類の提出を行ってください。
- (3) 代理申請後、入国管理局より「COE」が交付されたら、洗足学園音楽大学より申請者(入学手続完了者)に「COE」及び「入学許可証」を送付します。
- (4) 「COE」及び「入学許可証」受け取り後、居住国の日本大使館・領事館等で「留学ビザ(査証)」の申請を行い、有効期間内に留学ビザを取得してください。

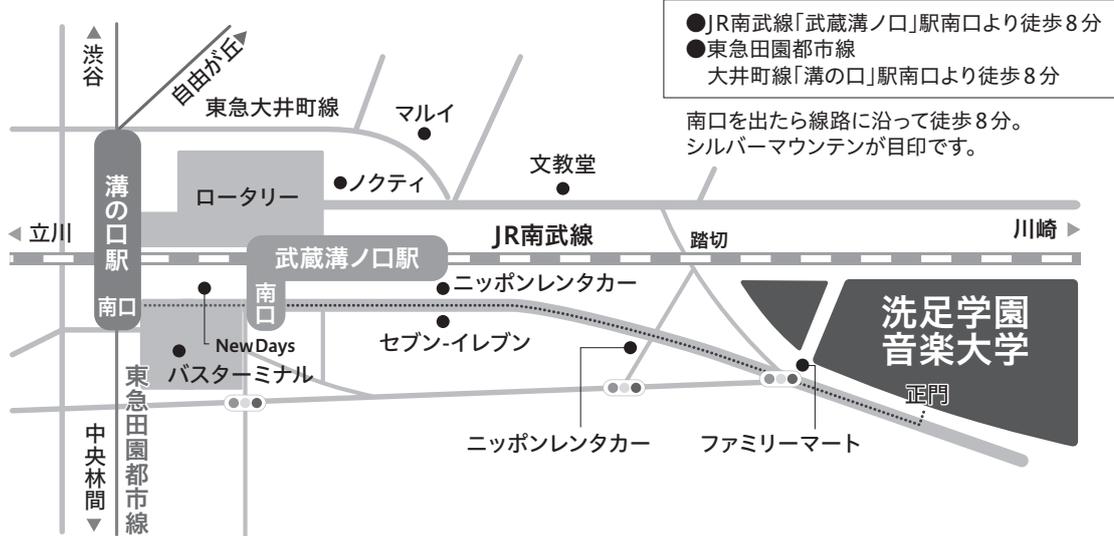
学校案内図・宿泊案内

学校案内図

●交通・アクセスマップ(最寄駅まで)



●アクセスマップ(最寄駅より)



宿泊案内

宿泊を希望する方は、以下の宿泊施設に直接申し込んでください。

ホテル名	住所	TEL	
JR東日本ホテルメッツ溝ノ口	川崎市高津区溝口1-1-5	044-862-0011	本学まで徒歩7分
川崎第一ホテル溝ノ口	川崎市高津区溝口2-3-12	044-877-3333	本学まで徒歩8分
ホテルK S P	川崎市高津区坂戸3-2-1	044-819-2221	本学まで徒歩13分
溝ノ口パールホテル	川崎市高津区二子5-8-3	044-814-8080	本学まで徒歩15分
スーパーホテルLohas武蔵小杉駅前	川崎市中原区新丸子東3-1184-1	044-578-9000	本学まで電車・徒歩含め21分

宿泊予約をする際は、「洗足学園の受験生です」と申し出てください。割引の制度があります。料金に関しては、各宿泊施設に直接ご確認ください。

学部 3 年次 編入学試験

コース別専門試験科目

【共通説明事項】

1. 試験官の指示により演奏を途中でカットする場合があります。
2. 楽譜を必要とする場合は、各自で用意してください。
ただし、暗譜が指示されている場合はこの限りではありません。

作曲

① 専門実技

(1) 創作

下記①～②のいずれかを選択すること。

① 和声課題 (4時間)

バス、及びソプラノ課題各1題を四声体で作成する。

② 自由作曲課題 (4時間)

与えられたモチーフによりピアノ曲、またはピアノを含む器楽曲を作曲する。形式は自由とする。

(2) 提出

下記①～②のいずれかを選択すること。

① 写譜

次に掲げる曲集の中から一つの曲集を選び、さらにその中から1曲を選んで写譜し、コピーを提出すること。

五線紙は自由に選択してよい。

- ・ F.Chopin『前奏曲 op.28』(但し、No.2,7,20を除く)
- ・ R.Schumann『森の情景 op.82』
- ・ E.Grieg『抒情小曲集第3集 op.43』
- ・ C.Debussy『前奏曲第1集 L.117』
- ・ S.Prokofiev『束の間の幻影 op.22』

② 自作品

コンピュータによる楽譜 (PDF) と音源 (mp3) を提出すること。音楽のジャンル、形式、長さは自由。作成に使用するソフトは問わない。データはCD-Rなどのメディアにコピーし、提出すること。なお、提出された作品は原則返却しない。

(注意)

Web出願時に①和声課題・②自由作曲課題の中から受験科目1つ選択すること。

創作中の飲食は可とする。

通常入試(対面式)を選択した場合

専門実技(1) 創作

本学にて試験を行います。

創作に際し、本学が用意するピアノの使用を認める。

専門実技(2) 提出

専門実技当日午前8時～8時40分の間に、本学入試センターへ本人が持参すること。

オンライン入試を選択した場合

専門実技(1) 創作

専門実技試験当日にオンラインで実施します。必ず、パソコンを利用して受験してください。

①和声課題を選択した場合

課題及び五線紙が記載されたPDFファイルが、予めGoogle Classroomに掲載されます(ファイルにはパスワードがかかっています)。試験開始直前に、課題開封用のパスワードが、Google Meetを通じて提示されます。課題開封後、速やかに印刷を行い試験を開始してください。予め、プリンターを利用できる環境を整えておいてください。

②自由作曲課題を選択した場合

課題が記載されたPDFファイルが、予めGoogle Classroomに掲載されます(ファイルにはパスワードがかかっています)。試験開始直前に、課題開封用のパスワードが、Google Meetを通じて提示されます。

五線紙は、事前にGoogle ClassroomからPDFファイルをダウンロードの上、試験当日までにA4の用紙を使用して印刷してください。

試験終了後は、和声課題または作曲した楽譜の写真データまたはスキャンデータを、Google Classroomに速やかに提出してください。

専門実技(2) 提出

①写譜を選択した場合

楽譜のスキャンデータ(PDF)を、P.53の「動画提出期限」までにGoogle Classroomに提出してください。

②自作品を選択した場合

楽譜のスキャンデータ(PDF)及び音源データ(mp3)を、P.53の「動画提出期限」までにGoogle Classroomに提出してください。

音楽・音響デザイン

① 専門実技

自己アピール

オリジナル作品の提示（音源提出または演奏）や、録音・録画によるプレゼンテーション、または、これまでの音楽活動に関するレポートなど、幅広く自己をアピールする（10分程度）。

通常入試（対面式）を選択した場合

本学にて試験を行います。

注意事項及び機材について

1. USB フラッシュメモリでの作品提出は可。
音声は2ch再生のみで以下の拡張子のみ受け付ける。
 - ・音声 .wav .aif .mp3 .m4a
 - ・映像 .mov .mp4 .avi（音声は2chのみ）
 - ・資料 .pdf※ DAW のプロジェクト・ファイルや特定のソフトウェアのみで再生可能な形式での提出は認めない。
また、提出されたUSBメモリは原則返却しない。
2. 再生機器（CD、DVD、BD）の使用及びPC持参による音声・画面出力は可。
ケーブル類は以下の種類が使用可能。
ステレオミニケーブル、TRSケーブル（オーディオインターフェース用）、TSケーブル及びDI（エレキギター等の楽器用）、HDMI入力（映像&音声）
3. スマートフォンやPCから音声や画面を出力するための各種変換アダプターを必ず持参すること。
4. ピアノ・電子オルガンは試験会場で使用可。
これらの楽器を含め演奏を希望する場合は、受験楽器をWeb出願時に入力すること（楽譜を見ながらの演奏も可）。
電子オルガン機種…ヤマハ・エレクトーン ELS-02C
ギター等のアンプが必要な場合は、各自持参すること。但し、ライン入力は可。
5. 伴奏が必要な場合はCD、DVD、BDのいずれかとし、実技試験時に各自持参すること。

オンライン入試を選択した場合

動画審査を実施

（動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照）

[提出動画の長さ] 10分程度

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までにGoogle Classroomを使用して提出してください。

動画作成についての注意事項

- ・動画は、必ず志願者本人が映った状態で撮影すること（全身が映る必要はない。編集も可）。
- ・自己アピールのファイルが複数個に渡る場合は、ファイル名を「受験番号・氏名・通し番号」として提出すること。

ピアノ

① 専門実技

下記の2曲を演奏する(暗譜。繰り返しなし。)

- (1) Johann Sebastian Bach / Das Wohltemperierte Klavier より任意の1曲 (Praeludium und Fuge)
- (2) 自由曲 (任意の1曲を演奏する。エチュードでも可。(1)を除く。)

(注意)

1. (1)、(2)の演奏曲目をWeb出願時に入力すること。
2. (1)、(2)の演奏順序は自由。ただし演奏順をWeb出願時に入力すること。

通常入試(対面式)を選択した場合

本学にて試験を行います。

オンライン入試を選択した場合

動画審査を実施

(動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照)

[提出動画の長さ] 20分以内

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までにGoogle Classroomを使用して提出してください。

動画作成についての注意事項

- ・動画の編集・加工は不可とする。
- ・専門実技課題の全曲を続けて演奏した録画とする。
- ・カメラは固定とする。
- ・手と顔(または全身)が写るように撮影する。
- ・2021年11月以降の撮影とする。
- ・電子ピアノを使用した動画も可とする。

管楽器 (木管)

① 楽器別専門実技

スケール：P.44の楽譜の通り、指定された長調及び短調を演奏する（暗譜）。

課題曲・自由曲：10分程度。伴奏なしで演奏すること。

自由曲：独奏曲と記されている場合、エチュードは不可とする。

■フルート

(1) スケール

(2) 自由曲

任意の独奏曲または Wolfgang Amadeus Mozart の協奏曲第1番ト長調KV.313または第2番ニ長調KV.314を演奏する（カデンツは自由。出版社の指定なし）。

■オーボエ

(1) スケール

(2) 自由曲

任意の独奏曲を1曲演奏する。

■クラリネット

(1) スケール

(2) 自由曲

任意の独奏曲を1曲演奏する。

■ファゴット

(1) スケール

(2) 課題曲

L.Milde / ミルデ50の演奏会用練習曲集1巻より No.1、No.2、No.3の中から当日指定する。

(3) 自由曲

任意の独奏曲を1曲演奏する。

■サクソフォーン

(1) スケール

(2) 自由曲

任意の独奏曲を1曲演奏する。

通常入試（対面式）を選択した場合

本学にて試験を行います。

オンライン入試を選択した場合

動画審査を実施

（動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照）

〔提出動画の長さ〕10分以内

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までに Google Classroom を使用して提出してください。

▶ 吹奏楽指導者マスタークラス希望者

■フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・サクソフォーン

① 専門実技

(1) 作文（800字以内／制限時間60分）

「自分が描く理想の吹奏楽指導者像」について。

(2) 3分程度の演奏パフォーマンス（楽譜を見ながらの演奏も可）

選曲ジャンル、形態は自由とする。

通常入試（対面式）を選択した場合

本学にて試験を行います。

オンライン入試を選択した場合

専門実技 (1) 作文

専門実技当日にオンラインで実施。パソコンを利用して受験してください。作文用紙は、事前に Google Classroom から PDF データをダウンロードの上、試験当日までに A4 の用紙を使用して印刷してください。（実施方法詳細は、P.57～58を参照）

専門実技 (2) 3分程度の演奏パフォーマンス

動画審査を実施

（動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照）

〔提出動画の長さ〕3分程度

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までに Google Classroom を使用して提出してください。

管楽器(金管)

① 楽器別専門実技

スケール：P.45の楽譜の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

自由曲：10分程度。伴奏なしで演奏すること。エチュードは不可とする。

■ホルン・トランペット・トロンボーン・ユーフォニアム・チューバ

(1) スケール

(2) 自由曲

任意の独奏曲を1曲演奏する。

通常入試(対面式)を選択した場合

本学にて試験を行います。

オンライン入試を選択した場合

動画審査を実施

(動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照)

[提出動画の長さ] 10分以内

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までに

Google Classroomを使用して提出してください。

▶ 吹奏楽指導者マスタークラス希望者

■ホルン・トランペット・トロンボーン・ユーフォニアム・チューバ

① 専門実技

(1) 作文(800字以内/制限時間60分)

「自分が描く理想の吹奏楽指導者像」について。

(2) 3分程度の演奏パフォーマンス(楽譜を見ながらの演奏も可)

選曲ジャンル、形態は自由とする。

通常入試(対面式)を選択した場合

本学にて試験を行います。

オンライン入試を選択した場合

専門実技(1) 作文

専門実技当日にオンラインで実施。パソコンを利用して受験してください。作文用紙は、事前にGoogle ClassroomからPDFデータをダウンロードの上、試験当日までにA4の用紙を使用して印刷してください。

(実施方法詳細は、P.57～58を参照)

専門実技(2) 3分程度の演奏パフォーマンス

動画審査を実施

(動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照)

[提出動画の長さ] 3分程度

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までに

Google Classroomを使用して提出してください。

弦楽器

① 楽器別専門実技

暗譜。伴奏が必要な場合は、各自で用意すること。

■ヴァイオリン

(1) 自由曲

任意の協奏曲より第1楽章または終楽章を演奏する。

■ヴィオラ・チェロ・コントラバス・ハープ

(1) 自由曲

任意の楽曲を1曲演奏する。

(注意)

演奏曲目をWeb出願時に入力すること。

通常入試(対面式)を選択した場合

本学にて試験を行います。

〈コントラバスで受験する場合〉

コントラバスの貸出希望者は、Web出願時に選択すること。ただし、弓は持参すること。

〈ハープで受験する場合〉

ハープの志願者は、使用楽器をWeb出願時に選択すること。

[使用楽器] サルヴィ (オーロラ)、ライオン&ヒーリー 23号

オンライン入試を選択した場合

動画審査を実施

(動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照)

[提出動画の長さ] 10分以内

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までにGoogle Classroomを使用して提出してください。

〈ハープで受験する場合〉

[使用楽器] 入試センターへ問い合わせること。

▶ 吹奏楽指導者マスタークラス希望者

■コントラバス

① 専門実技

(1) 作文 (800字以内/制限時間60分)

「自分が描く理想の吹奏楽指導者像」について。

(2) 3分程度の演奏パフォーマンス (楽譜を見ながらの演奏も可)

選曲ジャンル、形態は自由とする。

通常入試(対面式)を選択した場合

本学にて試験を行います。

コントラバスの貸出希望の有無を、Web出願時に選択すること。ただし、弓は持参すること。

オンライン入試を選択した場合

専門実技(1) 作文

専門実技当日にオンラインで実施。パソコンを利用して受験してください。作文用紙は、事前にGoogle ClassroomからPDFデータをダウンロードの上、試験当日までにA4の用紙を使用して印刷してください。

(実施方法詳細は、P.57～58を参照)

専門実技(2) 3分程度の演奏パフォーマンス

動画審査を実施

(動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照)

[提出動画の長さ] 3分程度

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までにGoogle Classroomを使用して提出してください。

打楽器

① 専門実技

下記(1)～(2)を演奏する。

(1) 基礎打ち・スケール

① スネアドラム 基礎打ち

1つ、2つ、5つ、7つ打ち、及びロールより当日指定。

② マリンバ スケール

譜例(P.46)にしたがい長調及び短調の音階を演奏する(調性は当日指定。暗譜。J=108ca)。

(2) 課題曲

下記①～②のいずれかを選択し演奏する。

① 北爪道夫/サイド・バイ・サイド 打楽器ソロのための

② 田中利光/マリンバのための二章よりII

通常入試(対面式)を選択した場合

本学にて試験を行います。

P.48を参照の上、楽器配置図を作成し、Web出願時にPDFデータをアップロードすること。

(注意)

1. スネアドラムは、原則各自持参すること(貸出を希望する場合は、Web出願時に選択すること。)
2. マリンバは、会場に用意されているコオロギパーフェクション(4oct.1/2 F-C)または(5oct.C-C)とする。使用するマリンバをWeb出願時に選択すること。

オンライン入試を選択した場合

動画審査を実施

(動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照)

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までにGoogle Classroomを使用して提出してください。

専門実技(1)基礎打ち・スケール

① スネアドラム 基礎打ち

1つ、2つ、5つ、7つ打ち、ロール、全てを演奏する。

② マリンバ スケール

譜例(P.46)にしたがい長調及び短調の音階全調を演奏する(調性は当日指定。暗譜。J=108ca)。

動画作成についての注意事項

- ・編集・加工は不可とする。
- ・専門実技課題の全曲を続けて演奏した録画とする。
- ・カメラは固定とする。
- ・手と顔(または全身)が写るように撮影する。

▶ 吹奏楽指導者マスタークラス希望者

■スネアドラム・マリンバ・ティンパニ

① 専門実技

(1) 作文(800字以内/制限時間60分)

「自分が描く理想の吹奏楽指導者像」について。

(2) 3分程度の演奏パフォーマンス(楽譜を見ながらの演奏も可)

選曲ジャンル、形態は自由とする。

通常入試(対面式)を選択した場合

本学にて試験を行います。

(注意)

1. スネアドラムは、原則各自持参すること(貸出を希望する場合は、Web出願時に選択すること。)
2. マリンバは、会場に用意されているコオロギパーフェクション(4oct.1/2 F-C)または(5oct.C-C)とする。使用するマリンバをWeb出願時に選択すること。
3. ティンパニを選択する場合、本学が用意したものをを使用すること。

オンライン入試を選択した場合

専門実技(1)作文

専門実技当日にオンラインで実施。パソコンを利用して受験してください。作文用紙は、事前にGoogle ClassroomからPDFデータをダウンロードの上、試験当日までにA4の用紙を使用して印刷してください。(実施方法詳細は、P.57～58を参照)

専門実技(2)3分程度の演奏パフォーマンス

動画審査を実施

(動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照)

[提出動画の長さ]3分程度

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までにGoogle Classroomを使用して提出してください。

電子オルガン

① 専門実技

自由曲2曲を演奏する(ジャンルは問わない。暗譜。自作曲は1曲のみ可)。
2曲合わせて15分以内とする。

通常入試(対面式)を選択した場合

本学にて試験を行います。

(注意)

1. 演奏楽譜を実技試験時に提出すること。楽譜は、提出楽譜作製方法(P.43)を参照のこと。
2. USBフラッシュメモリ等は、音色用の音源としてのみ使用可。

[使用機種] ヤマハ・エレクトーン ELS-02C

オンライン入試を選択した場合

動画審査を実施

(動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照)

[提出動画の長さ] 15分以内

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までにGoogle Classroomを使用して提出してください。

(注意)

1. 演奏楽譜を出願時に提出すること。楽譜は、提出楽譜作製方法(P.43)を参照のこと。
2. USBフラッシュメモリ等は、音色用の音源としてのみ使用可。

[使用機種] 機種指定はありません。

ジャズ

① 楽器別専門実技

課題曲：大学から提供される伴奏音源とコード譜を使用すること (P.30 参照)。メロディーは受験者自ら譜面をさがすか、音源を聴いて覚えるようにすること (ドラム・ヴォーカルを除く)。

自由曲：自分の音楽性をアピールできる曲、ジャンルは問わない。5分以内とする (1曲)。

全楽器共通事項

- ・ジャズの入試では、その場で即興的に演奏しようという意思が感じられる演奏を望むため、予め書いてあるものを覚えて演奏したり、暗記しているフレーズを羅列しないようにすること。
※音の間違いが少ないかより、即興的に演奏しようという意思を重視します。
- ・試験の際に譜面は使用しない。

■フルート・クラリネット・サクソフォーン

(1) 課題曲 (以下より1曲選択)

- ・『Now's The Time』

テーマ (1コーラス) → アドリブ (4コーラス) → テーマ (1コーラス) を演奏する。
最後のテーマが終わった時点で演奏を終了すること。

- ・『Autumn Leaves』
- ・『Someday My Prince Will Come』

テーマ (1コーラス) → アドリブ (2コーラス) → テーマ (1コーラス) を演奏する。
最後のテーマが終わった時点で演奏を終了すること。

(2) 自由曲

■トランペット

(1) 課題曲 (以下より1曲選択)

- ・『Straight No Chaser』

テーマ (1コーラス) → アドリブ (4コーラス) → テーマ (1コーラス) を演奏する。
最後のテーマが終わった時点で演奏を終了すること。

- ・『Autumn Leaves』
- ・『Someday My Prince Will Come』

テーマ (1コーラス) → アドリブ (2コーラス) → テーマ (1コーラス) を演奏する。
最後のテーマが終わった時点で演奏を終了すること。

(2) 自由曲

■トロンボーン

(1) 課題曲 (以下より1曲選択)

- ・『Good Bait』
- ・『Someday My Prince Will Come』

テーマ (1コーラス) → アドリブ (2コーラス) → テーマ (1コーラス) を演奏する。
最後のテーマが終わった時点で演奏を終了すること。

(2) 自由曲

■ギター

楽器は、アコースティック、エレクトリックを問わない。

(1) 課題曲

- ・『Billie's Bounce』

テーマ (1コーラス) → アドリブ (4コーラス) → テーマ (1コーラス) を演奏する。
最後のテーマが終わった時点で演奏を終了すること。

(2) 自由曲

■ピアノ

(1) 課題曲

- ・『Billie's Bounce』

テーマ (1コーラス) → アドリブ (4コーラス) → テーマ (1コーラス) を演奏する。
最後のテーマが終わった時点で演奏を終了すること。

(2) 自由曲

■ベース

楽器は、アコースティック、エレクトリックを問わない。

(1) 課題曲

・『Good Bait』

譜面の指定に従ってリズムを変えて演奏する。

最後のテーマの伴奏が終わった時点で演奏を終了すること。

(2) 自由曲

■ドラム

(1) 課題曲

・12小節のブルースフォームで演奏する。

1コーラス目は伴奏(4小節ごとのフィル)、2コーラス目はアドリブ、そして3コーラス目の1拍目で終わる。

※メトロノームは使用せずに自分でカウントしてから演奏を始める。

(2) 自由曲

(注意)

伴奏音源を使用しない場合は、自分でカウントしてから演奏を始める。

■その他の楽器(ヴォーカル等)

※ヴォーカル以外の楽器を希望する場合は、事前に入試センターまでお問い合わせください。

(1) 自由曲

通常入試(対面式)を選択した場合

本学にて試験を行います。

自由曲

伴奏音源または無伴奏での演奏とする。伴奏音源を必要とする場合は、音源を実技試験時に持参すること。音源はCD、スマートフォン、タブレット、パソコンのいずれかとする。

イヤホンジャックの付いていないデバイスで音源を再生する場合には、ステレオミニケーブル(オス、3.5mmφ)に接続できるアダプターかケーブルを持参すること。ステレオミニケーブル(オス)は会場に用意されているものを使用すること。

〈ドラムで受験する場合〉

実技試験当日は、本学でドラムセットを用意しているが、ペダルとスネアドラムのみ持参しても良い。ドラムの仕様は以下を参照のこと。

オンライン入試を選択した場合

動画審査を実施

(動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照)

[提出動画の長さ]5分以内

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までにGoogle Classroomを使用して提出してください。

自由曲

伴奏者(またはバンド)、伴奏音源との演奏でも、無伴奏でも可とする。

(注意)

必ず演奏者全体が写る動画であること(手元のアップなどにならないように)。

ドラム仕様

〈ドラムセット〉

YAMAHA Maple Custom

●バスドラム 18inch

●タム 12inch

●フロアタム 14inch

●スネアドラム 14inch

〈シンバル〉

Zildjian

●ハイハットシンバル 14inch

●ライドシンバル 20inch

●クラッシュシンバル 18inch

※上記と同程度のものを使用

課題曲

課題曲	楽器	フルート クラリネット サクソフォーン	トランペット	トロンボーン	ギター ピアノ	ベース
Now's The Time by Charlie Parker		○				
Autumn Leaves by Joseph Kosma		○	○			
Someday My Prince Will Come by Frank Churchill		○	○	○		
Straight No Chaser by Thelonious Monk			○			
Good Bait by Tadd Dameron				○		○
Billie's Bounce by Charlie Parker					○	

【伴奏音源・コード譜について】

ジャズコースの受験希望者は、伴奏音源・コード譜のダウンロードが可能です。以下のURLにアクセスの上、申し込みを行ってください。(ドラム・ヴォーカルを除く)。

https://www.senzoku.ac.jp/music/admission/jazz_sounds



① 専門実技

任意の1曲を演奏する。

通常入試(対面式)を選択した場合

本学にて試験を行います。

(注意)

1. 箏の志願者で、十三弦箏・十七弦箏の貸出を希望する場合、Web出願時に選択すること。前記以外の箏で受験を希望する場合は各自で持参すること。
2. 三味線の志願者で、長唄・常磐津・清元等の古典浄瑠璃曲を演奏する場合、助演として唄方1名までを試験当日同伴することが可能。
3. 邦楽打楽器で受験する場合、試験会場に和太鼓(宮太鼓)は用意されている。
4. 箏、三味線、尺八、横笛については、中国や韓国などの同属楽器の演奏でも可とする。但し、入学後は日本の楽器を専攻するものとする。
5. 使用する楽器と流派をWeb出願時に入力すること。

オンライン入試を選択した場合

動画審査を実施

(動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照)

[提出動画の長さ]10分以内

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までにGoogle Classroomを使用して提出してください。

■その他の楽器

出願時に入試センターへ問い合わせる指示事項を確認すること。

ロック&ポップス

① 楽器別専門実技

■ヴォーカル・ギター・ベース・キーボード

(1) 自由曲2曲

1曲8分以内。

■ドラム・パーカッション

(1) 基礎打ち

スネアドラムによるシングルストローク/ダブルストロークのチェンジアップを演奏する (BPM100)。

P.47 譜例参照

(2) 自由曲

8分以内。

特定の楽曲、自分の得意なパターンの組み合わせ、アドリブソロのいずれでも可。

■シンガーソングライター

(1) オリジナル曲を含む自由曲2曲

1曲8分以内。

オリジナル曲2曲、あるいはオリジナル曲1曲+カバー曲1曲を演奏する。

■その他の楽器

出願前に入試センターへ問い合わせせて指示事項を確認すること。

通常入試(対面式)を選択した場合

本学にて試験を行います。

(注意)

1. ギター・ベース・キーボード受験者は、演奏楽譜(コード譜で可)を実技試験時に提出すること。演奏楽譜は、提出楽譜作製方法(P.43)を参照のこと。
2. ヴォーカル・シンガーソングライター受験者は、歌詞とメロディー譜を実技試験時に提出すること。
3. 伴奏が必要な場合は、伴奏用音源(ギター・ドラム・パーカッション・キーボード受験者は、マイナスイオン音源とする。ベース受験者はオリジナル音源でも可)を実技試験時に提出すること。音源はCD・携帯プレイヤーとする。ヴォーカル・シンガーソングライター受験者は、楽器の弾き語りでも、マイナスイオンオケに合わせた演奏でも可。
4. ドラム受験者で、個人のスネアドラム・フットペダル・シンバル等を持ち込む場合は7分以内にセッティングすること。
5. パーカッション受験者で、コンガ・ティンバレス・ジェンベ・カホン以外の打楽器を使用する場合は、各自持参すること。
6. 設置機器に関しては下記を参照のこと。

オンライン入試を選択した場合

動画審査を実施

(動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照)

[提出動画の長さ]1曲につき8分以内

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までにGoogle Classroomを使用して提出してください。

(注意)

1. ギター・ベース・キーボード受験者は、演奏楽譜(コード譜で可)を出願時に提出すること。演奏楽譜は、提出楽譜作製方法(P.43)を参照のこと。
2. ヴォーカル・シンガーソングライター受験者は、歌詞とメロディー譜を出願時に提出すること。
3. 伴奏が必要な場合は、ギター・ドラム・パーカッション・キーボード受験者はマイナスイオン音源とする。ベース受験者はオリジナル音源でも可。ヴォーカル・シンガーソングライター受験者は、楽器の弾き語りでも、マイナスイオンオケに合わせた演奏でも可。

[設置機器](通常入試を選択した場合)

- 88鍵ピアノタッチデジタルピアノ (Roland V-Piano、Roland RD700GX)
- 61鍵オルガンタッチシンセサイザー (YAMAHA MOTIF XS6、KORG TRITON)
- コンガ、ティンバレス、ジェンベ、カホン、スネアドラム
- ギターアンプ (Marshall、Fender、Roland、Hughes&Kettner)
- ベースアンプ (Ampeg)
- PAシステム、マイク (SHURE SM58)

※機材はコンディションにより変更となる場合がある。また、上記以外の楽器やエフェクター、ケーブル(3m程度)、スティックを使用する場合は各自持参すること。

※ギター、ベースの音出しはギターアンプ、ベースアンプあるいはライン入力とする。エフェクターを使用する場合は、3分以内にセッティングすること。

声 楽

① 専門実技

下記の2曲を演奏する(暗譜)。

- (1) 任意の歌曲1曲(原語)。
- (2) 任意のアリア(オペラ、オラトリオ、コンサートアリアのいずれも可)1曲(原語。原調)。

通常入試(対面式)を選択した場合

本学にて試験を行います。

(注意)

1. 伴奏はピアノ伴奏とし、各自で用意すること。
2. 歌曲の調性は自由とする。
3. 演奏曲目をWeb出願時に入力すること。

オンライン入試を選択した場合

動画審査を実施

(動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照)

[提出動画の長さ]制限なし

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までにGoogle Classroomを使用して提出してください。

動画作成についての注意事項

- ・専門実技(1)と(2)は続けて録画すること。
- ・動画の編集(音の加工、動画の繋ぎ合わせ等)は行わないこと。
- ・正面全身の撮影であること。
- ・伴奏はピアノ伴奏とし、各自で用意すること。
- ・歌曲の調性は自由とする。

▶ コーラスアンサンブルクラス希望者

① 専門実技

下記の2曲を演奏する(暗譜)。

- (1) 任意の歌曲1曲(原語)。
- (2) 任意のミュージカルナンバーまたはクラシック以外のジャンルの楽曲1曲(原語)。

通常入試(対面式)を選択した場合

本学にて試験を行います。

(注意)

1. 伴奏はピアノ伴奏とし、各自で用意すること。
2. 調性は自由とする。
3. 演奏曲目をWeb出願時に入力すること。

オンライン入試を選択した場合

動画審査を実施

(動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照)

[提出動画の長さ]制限なし

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までにGoogle Classroomを使用して提出してください。

動画作成についての注意事項

- ・専門実技(1)と(2)は続けて録画すること。
- ・動画の編集(音の加工、動画の繋ぎ合わせ等)は行わないこと。
- ・正面全身の撮影であること。
- ・伴奏はピアノ伴奏とし、各自で用意すること。
- ・歌曲の調性は自由とする。

ミュージカル

① 専門実技

(1) ヴォーカル実技

下記の2曲を演奏する。

① 課題曲

コンコーネ 50 番 No.1 ~ No.25 より任意の1曲を演奏する(暗譜。母音唱法。語頭にMやLなどの子音を付加しても良い。繰り返しなし)。

② 自由曲1曲

3分程度の任意の曲を演奏する(暗譜。曲のジャンルは問わない)。

(2) ダンス実技

(3) 演技実技

出典：ウィリアム・シェイクスピア作「夏の夜の夢」「十二夜」

河合祥一郎訳(角川文庫版)

② 口頭試問

ミュージカルに関する内容を中心に口頭試問を行う。

通常入試(対面式)を選択した場合

本学にて試験を行います。

専門実技(1) ヴォーカル実技

1. コンコーネの演奏No.及び音域をWeb出願時に選択すること。
2. 自由曲でピアノ伴奏が必要な場合、演奏楽譜を出願時に提出すること。但し、ヴォーカルスコアとする。演奏楽譜は、提出楽譜作製方法(P.43)を参照のこと。
3. 伴奏は本学教員が担当する。
4. 自由曲でピアノ伴奏以外の音源を必要とする場合、実技試験時に提出すること。但し、音源はCDとする。
5. 自由曲の調性は自由とする。

専門実技(2) ダンス実技

ジャズダンスの基本的なステップ(ウォーキング、ツーステップ、スキップ)とそれらをコンビネーションさせた振り付けを試験官が指導し、練習を行った後に踊る。

1. 動きやすい服装で受験すること。
2. 試験会場は土足禁止のため、ダンスシューズ等の動きやすい上履きで受験すること。
3. バレエ・ジャズダンスなどの経験の有無は問わない。

専門実技(3) 演技実技

P.49の演技課題より①、②のいずれかを選択し演技する。その後、試験官から提示された演出で演技する(暗記)。演技課題①、②のシーンは、他の翻訳版でも可とする。

オンライン入試を選択した場合

動画審査を実施

(動画の提出方法詳細は、P.51 ~ 55を参照)

[提出動画の長さ]制限なし

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までにGoogle Classroomを使用して提出してください。

専門実技(1) ヴォーカル実技

1. 伴奏が必要な場合は、音源を使用しても、各自が用意した伴奏でも可。
2. 自由曲の調性は自由とする。

専門実技(2) ダンス実技

1分程度のダンスパフォーマンス(ジャンルは自由)

専門実技(3) 演技実技

P.49の演技課題より①、②のいずれかを選択し演技する(暗記)。

演技課題①、②のシーンは、他の翻訳版でも可とする。

口頭試問

専門実技当日の面接時にオンラインで実施。

バレエ

① 専門実技

バレエ実技

レッスン形式(バーとセンター、ポワント)

※ポワントは女性のみ。

(注意)

服装について

・女性…髪をシニヨンにまとめる。

単色のシンプルなデザインのレオタード(スカート、フリル無し)にピンクタイツ着用(レッグウォーマー不可)。

バレエ・シューズ、ポワントを用意のこと。

・男性…白のTシャツまたはレオタードと黒タイツと白のソックス着用。

バレエ・シューズを用意のこと。

通常入試(対面式)を選択した場合

本学にて試験を行います。

オンライン入試を選択した場合

動画審査を実施

(動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照)

[提出動画の長さ] 10分以内

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までにGoogle Classroomを使用して提出してください。

バレエ実技

クラシックバレエクラスから、以下の①～④の動画を提出すること。

伴奏使用の有無は自由とする。

① 1番ポジション(アン・バ)、ファースト・アラベスク(左右両方)の2つのポジションで5秒ずつキープする。

② バーレッスン：4つ

プリエ、タンデュ、ジュテ、ロン・ドゥ・ジャンプ・ア・テール、フォンデュ、フラッペ、アダージョ、グラン・バットマンから選んで左右交互に撮影。

(例) プリエ右→タンデュ+ジュテ左→ロン・ドゥ・ジャンプ・ア・テール+フォンデュ右→アダージョ+グラン・バットマン左 など

③ センターレッスン：4つ

アダージョ

タンデュ・ピルエットなど

アレグロ(ソテ、アッサンブレ、ジュテなど)

グランアレグロ(シソンス、グラン・パ・ドゥ・シヤ、グラン・ジュテなど。男性のみ、トゥール・アン・レール)

④ ポワントワーク：3つ

2拍子(ルルベ、エシャッペなど)

3拍子(ピルエット、ピケ、フェット・アラベスクなど)

斜めに(トゥール・ピケ・アン・ドゥダン、シェネなど)

※ポワントは女性のみ。

ダンス

① 専門実技

1分程度のダンスパフォーマンス（ジャンルは自由）

通常入試（対面式）を選択した場合

本学にて試験を行います。

（注意）

1. 動きやすい服装で受験すること。また、試験会場は土足禁止のため、室内用ダンスシューズ等で受験すること。
2. 音源を実技試験時に提出すること。
3. 音源は、CDまたは携帯プレイヤーとする。

オンライン入試を選択した場合

動画審査を実施

（動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照）

[提出動画の長さ] 1分程度

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までにGoogle Classroomを使用して提出してください。

動画作成についての注意事項

- ・ 動画の編集・加工は不可とする。
- ・ 全身が正面から映るように撮影すること。
- ・ 受験生が一人で映っていること。

ワールドミュージック

① 専門実技

受験楽器は以下のとおりです。

クラシックギター／チェンバロ／アコーディオン／バンドネオン／二胡／マンドリン／フラットマンドリン／フラメンコギター／リュート／シタール／バンジョー（5弦）／ドブロギター／ウード／ウクレレ／リコーダー／ハーモニカ／オカリナ／ケーナ／サンボニーヤ／ダラブッカ／レック／タール／ジェンベ／ジェンジュン／タブラ／モジュラーシンセサイザー 等

■単専攻の場合（上記の受験楽器一覧より、1つを選択）

(1)、(2) 両方とも行うこと。

(1) 専攻楽器別課題曲または自由曲

志望専攻の楽器を演奏する（楽譜を見ながらの演奏も可）。各楽器とも伴奏なし。
全体で5～7分程度とする。

(2) 口頭試問

専攻楽器や音楽に関する知識について口述試験を行う。

■チェンバロ（ピアノでの受験も可）

※チェンバロ、ピアノ共に同様の課題。

以下、(A) 及び (B) の2曲を演奏する。

(A) J.S.Bachの作品（インヴェンションとシンフォニア、平均律クラヴィア曲集、組曲など）から1曲

(B) 自由曲1曲

■アコーディオン

自由曲（2曲または3曲）

■バンドネオン

以下、(A) 及び (B) を演奏する。

(A) 任意のスケール（2オクターブ両手）

(B) 自由曲1曲

■クラシックギター

以下、(A) 及び (B) を演奏する。

(A) Matteo Carcassi / 25の練習曲 Op.60より1曲

(B) 自由曲1曲

■フラメンコギター

以下、(A) または (B) を選択。

(A) クラシックギター奏法で受験の場合：
クラシックギターと同様の課題2曲

(B) フラメンコギター奏法で受験の場合：

以下①及び②を演奏する。

①「ソレア」「アレグリアス」「ブレリアス」のいずれかの形式で3分以上のソロ（1曲）

②「グラナイーナ」「タランタ」「マラゲーニャ」またはこれらに準ずる形式で3分以上のソロ（1曲）

※自作、他作は問わない。

■マンドリン

以下、(A) 及び (B) を演奏する。

(A) 以下の作品より1曲選択

R.Calace / Notturmo-Cielo Stellato「夜想曲星空」

R.Calace / Piccola Gavotta「かわいいガヴォット」

R.Calace / Preludio no.12「前奏曲第12番」

A.Vivaldi / Mandolin Concerto in C major RV425（マンドリンソロパート）

C.Munier / Mazurka Concerto「演奏会用マズルカ」（マンドリンソロパート）

(B) 自由曲1曲

■フラットマンドリン

以下、(A) または (B) の課題を選択し、演奏する。

(A) ①アメリカンまたはアイリッシュ・トラディショナルのフィドル曲を異なるキーで2曲演奏。

②スケール

指定したキーでメジャー・スケール及びマイナー・スケール

③コード

指定したメジャー・コード及びマイナー・コード

(B) ①自由曲2曲

②スケール

指定したキーでメジャー・スケール及びマイナー・スケール

③コード

指定したメジャー・コード及びマイナー・コード

■バンジョー

以下、(A) または (B) の課題を選択し、演奏する。

(A) ①Earl Scruggs / Foggy Mountain

Breakdown (key of G)

Earl Scruggsの演奏を踏襲したテーマから自身のバリエーション（アドリブ）

②3フィンガー・ロール

フォワード・ロール、バックワード・ロール、リバース・ロールなど基本的な右手パターンを演奏する。

③コードフォーム

指定したキーで、展開形のコードを演奏する。
例) F minor, B♭ Major など

(B) ①自由曲2曲

②3フィンガー・ロール

フォワード・ロール、バックワード・ロール、リバース・ロールなど基本的な右手パターンを演奏する。

③コードフォーム

指定したキーで、展開形のコードを演奏する。
例) F minor, B♭ Major など

■ドブロギター

自由曲(必ず事前に相談のこと)

■シタール

以下の任意のラーガから1つを選択して、ターラ・ティーンタールのマディヤマ・ガットを即興演奏なしに演奏する。

- (A) ラーガ・ヤマン
- (B) ラーガ・カマージュ
- (C) ラーガ・カーフィー

■リュート

ルネサンスあるいはバロック期の作品から自由曲2曲

■ウクレレ

自由曲(必ず事前に相談のこと)

■ウード

自由曲(必ず事前に相談のこと)

■二胡

以下、(A) または (B) の課題を選択し、演奏する。

- (A) 以下の①～③を演奏する。
 - ①劉天華／空山鳥語
 - ②許可作曲、王建民編曲／風韻
 - ③自由曲：伝統曲(または現代曲)
※「風韻」の楽譜が必要な場合は申し出ること。
- (B) 自由曲3曲を演奏する。

■リコーダー

以下、(A) 及び (B) を演奏する。

- (A) ① G.F.Handel / Sonata in g minor HWV360
Sonata in a minor HWV362
Sonata in C major HWV365
Sonata in F major HWV369
より任意の楽章(一楽章)
- (B) ルネサンス、バロック期及び現代のリコーダー作品より任意の1曲

■ハーモニカ

自由曲(必ず事前に相談のこと)

■オカリナ

以下、(A) 及び (B) を演奏する。

- (A) 任意の音型によるスケール
12音全てによる長音階、短音階の中から当日指定された調を演奏する(各自のオカリナの音域内で演奏できる調を指定する)。演奏範囲は1オクターブ以上で、リズムやテンポは任意とする。
- (B) 自由曲2曲
テンポやジャンルなど雰囲気の異なる2曲を自由に選択。

■ケーナ

以下、(A) または (B) の課題を選択し、演奏する。

- (A) ① Huaynoの伝承曲1曲
② Cueca, Bailecito, Zamba, Chacarera から任意の1曲
③ 自由曲1曲
※3曲とも異なる調性で演奏すること。
- (B) 自由曲3曲
※3曲とも異なる調性で演奏すること。

■サンポーニャ

以下、(A) または (B) の課題を選択し、演奏する。

- (A) ① シクリアードをソロで1曲
② 自由曲1曲
※2曲とも異なる調性で演奏すること。
- (B) 自由曲2曲
※2曲とも異なる調性で演奏すること。

■中東、西アフリカ系打楽器

自由曲(必ず事前に相談のこと)

■タブラ

ティーンタール

■モジュラーシンセサイザー

以下、(A) または (B) の課題を選択し、演奏する。

- (A) 既存楽曲またはオリジナル曲を任意の楽器で演奏する。
例) J.S.Bach / Inventionen und Sinfonien (BWV772～801) など(アレンジ可)。
- (B) 既存楽曲またはオリジナル曲を、コンピュータ、スマートフォン、タブレットなどで録音したものを再生、または任意のアプリケーションでプログラムした楽曲の再生。

※上記以外の楽器で受験を希望する場合は、入試センターへ問い合わせて指示事項を確認すること。

■複専攻の場合(次頁の一覧表より、志望専攻を2つ選択)

(1) 専攻別課題

志望専攻の課題をそれぞれ実施する(課題の内容については、事前に入試センターまで問い合わせること)。

演奏の場合は、各楽器とも伴奏なし。

※時間は、5～7分程度とする。

(2) 口頭試問

専攻楽器や音楽に関する知識について口述試験を行う。

※作曲は作品について解説を行う。

(注意)

受験する楽器を Web 出願時に入力すること。

[ワールドミュージックコース 複専攻カテゴリー一覧]

複専攻として2つを選択する場合は、必ず異なるカテゴリー（異なる楽器等の系統）から選択すること。

[選択例] ピアノ+フルートは、鍵盤楽器+管楽器のため、選択可。打楽器（クラシック）+ドラム（ジャズ）は、同じ打楽器に属するため、選択不可。

カテゴリー (楽器の系統)	単専攻(主科レッスン50分) ワールドミュージック専門研究楽器	複専攻(主科レッスン30分+30分) 異なるカテゴリーより2つ選択
鍵盤楽器系	チェンバロ アコーディオン バンドネオン	ワールドミュージック(鍵盤楽器) ピアノ ジャズ(ピアノ) 電子オルガン
弦楽器系	クラシックギター フラメンコギター マンドリン リュート フラットマンドリン ドブロギター バンジョー(5弦) シタール 二胡 ウード ウクレレ	ワールドミュージック(弦楽器) 弦楽器(各楽器) ジャズ(弦楽器)
管楽器系	リコーダー クロマティックハーモニカ オカリナ ケーナ サンポーニャ	ワールドミュージック(管楽器) 管楽器(各楽器) ジャズ(管楽器)
打楽器系	ドラブッカ レック タール ジェンベ ジュンジュン タブラ	ワールドミュージック(打楽器) 打楽器 ジャズ(打楽器)
作曲・電子音楽系	モジュラーシンセサイザー	作曲 音楽・音響デザイン
声楽系	—	ヴォイストレーニング (声楽、ミュージカル、声優アニメソング)
現代邦楽系	—	現代邦楽(各楽器)

通常入試(対面式)を選択した場合

本学にて試験を行います。

演奏楽譜を出願時に提出すること。

演奏楽譜は、提出楽譜作成方法(P.43)を参照のこと。

オンライン入試を選択した場合

専門実技(1) 専攻別課題曲または自由曲

動画審査を実施

(動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照)

[提出動画の長さ]5分～7分程度

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までに

Google Classroomを使用して提出してください。

演奏楽譜を出願時に提出すること。

演奏楽譜は、提出楽譜作成方法(P.43)を参照のこと。

専門実技(2) 口頭試問

専門実技当日の面接時にオンラインで実施。

動画作成についての注意事項

- ・独奏であること。伴奏はつけない。
- ・全曲通して演奏した録画を提出する。
動画の編集・加工は不可。複数の曲を演奏する場合は1回の録画で全曲を撮ること。
- ・全身が映っていること。カメラは固定。
- ・2021年7月以降の撮影とする。

声優アニメソング

① 専門実技

ヴォイス・プレゼンテーション

下記の内容を、制限時間内(5分程度)で行うこと。

「音声」に関する自分の表現力をアピールする。歌(ヴォーカル)、ナレーション、発声発音、朗読、演技など、形式は自由とする。

通常入試(対面式)を選択した場合

本学にて試験を行います。

(注意)

1. 試験会場にピアノ、オーディオ再生装置(CD・DVD・BD)、マイクロフォン1本、プロジェクターは用意されている。それ以外の楽器・機材は各自持参すること。
2. 自作品の演奏・歌唱も可能。
3. 伴奏や背景を必要とする場合は、CD、DVD、BDによるものとし、実技試験時に提出すること。
4. 背景や映像を使用する場合に限り、PC持参による音声・画面出力も可とする。

オンライン入試を選択した場合

動画審査を実施

(動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照)

[提出動画の長さ]5分程度

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までにGoogle Classroomを使用して提出してください。

(注意)

1. 自作品の演奏・歌唱も可能。
2. 伴奏・背景・映像の使用も可とする。
3. 動画には受験生が必ず映っていることとする。

音楽教育

① ハーモニー課題 (40分)

和声学とコードネームに関する基礎的な問題を当日出題する。

② 自己アピール実技

下記の(1)～(3)をすべて含めたアピールを、制限時間(15分)内で行うこと。

(1) ピアノ演奏

任意の曲をピアノで演奏する。演奏する楽曲のジャンルは問わないが、自己のピアノ演奏能力を端的にアピールできる選曲をすること。

(2) 歌唱

任意の曲を歌う。ジャンルは問わないが、自己の歌唱能力を端的にアピールできる選曲をすること。無伴奏で演奏するか、もしくはマイナスイン伴奏音源(CD・DVD)を用意すること。弾き語りでも可(楽器は問わない)。

(3) 本学の音楽教育コースで研鑽を積みたいと思う理由を述べること。

③ 口頭試問

上記①、②に関連する内容を中心に口頭試問を行う。

通常入試(対面式)を選択した場合

本学にて試験を行います。

(注意)

1. 試験会場にピアノ・電子オルガン・ドラムセット・再生機器(CD・DVD)は用意されている。それ以外の楽器・機材は各自持参すること。楽器演奏をする場合、使用する楽器をWeb出願時に入力すること。
電子オルガン使用機種…ヤマハ・エレクトーン ELS-02C
ドラムセットの仕様は以下を参照のこと。
2. 自作品の演奏可。
3. 伴奏が必要な場合は、伴奏音源(マイナスイン)を実技試験時に提出すること。音源はCD・DVDのいずれかとする。
4. コンピュータ持参による音声、画面出力は可。

オンライン入試を選択した場合

ハーモニー課題

実技試験当日にオンラインで実施(実施方法詳細は、出願後に個別でお知らせします。)

自己アピール実技

動画審査を実施

(動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照)

[提出動画の長さ]10分以内

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までにGoogle Classroomを使用して提出してください。

※ファイルが複数個に渡る場合は、ファイル名を「受験番号・氏名・通し番号」として提出すること。

口頭試問

専門実技当日の面接時にオンラインで実施。

ドラム仕様

〈ドラムセット〉

YAMAHA Maple Custom

- バスドラム 18inch
- タム 12inch
- フロアタム 14inch
- スネアドラム 14inch

〈シンバル〉

Zildjian

- ハイハットシンバル 14inch
- ライドシンバル 20inch
- クラッシュシンバル 18inch

※上記と同程度のものを使用

音楽環境創造

① 専門実技

(1) 自己アピール実技

楽器の演奏、歌唱、音源や動画などの制作物の発表、身体表現、パフォーマンスなど、5分以内の持ち時間で自由にプレゼンテーションをする。実演を記録したもの、あるいは複数のコンテンツを自由に組み合わせて編集されたものでも可。

(2) 感覚テスト

音量差、音色の相違、特定の楽器の欠如／追加、色彩感覚など、感覚的に解答可能な内容を出題する。出題は、Web上に掲載された音や画像、あるいは文字ベースの質問に答える形式とする。

通常入試(対面式)を選択した場合

本学にて試験を行います。

専門実技(1) 自己アピール実技

注意事項及び機材について

1. ピアノ・電子オルガン・マイク(SM58)は試験会場で使用可。これらの楽器を含め演奏を希望する場合は、受験楽器をWeb出願時に入力すること(楽譜を見ながらの演奏も可)。電子オルガン使用機種…ヤマハ・エレクトーン ELS-02C
ギター等のアンプが必要な場合は、各自持参すること。但し、ライン入力可。
※ドラムでの受験は不可とする。
2. スマートフォンやPC持参による音声・画面出力は可。但し、音声や画面を出力するための各種変換アダプタを必ず持参すること。

専門実技(2) 感覚テスト

スマートフォンまたはタブレットを利用して解答する。試験当日は、自分のスマートフォンまたはタブレット及びヘッドフォン(イヤフォン)を必ず持参すること。
※受験方法詳細はP.14を参照。

オンライン入試を選択した場合

専門実技(1) 自己アピール実技

動画審査を実施

(動画の提出方法詳細は、P.51～55を参照)

[提出動画の長さ]5分以内

実技内容の動画データをP.53の「動画提出期限」までにGoogle Classroomを使用して提出してください。

※ファイルが複数個に渡る場合は、ファイル名を「受験番号・氏名・通し番号」として提出すること。

専門実技(2) 感覚テスト

専門実技当日にオンラインで実施。パソコンを利用して受験すること。スマートフォンまたはタブレットでの受験は認められない。

(実施方法詳細は、P.58～59を参照)

提出楽譜作製方法

該当コース

電子オルガン (自由曲2曲)・ロック&ポップス (ヴォーカル・ギター・ベース・キーボード・シンガーソングライター)・ミュージカル (ヴォーカル実技「自由曲」でピアノ伴奏が必要な受験生のみ)・ワールドミュージック

《電子オルガン・ロック&ポップス・ワールドミュージック》

【用意するもの】 ・各ページ A4サイズにコピーした楽譜 ・ホチキス
【完成イメージ】 ・A4 (横版でも良い) 冊子

【注意ポイント】

- ◎ 表紙を付け、左上1ヶ所でホチキス止めすること。
- ◎ 全ページ片面コピー。両面コピー不可。
- ◎ 表紙は楽譜と同サイズの白い紙で作製すること。
- ◎ RP/VO、RP/SS希望者は、メロディー譜だけではなく、歌詞も添付すること。歌詞付きのメロディー譜でも良い。

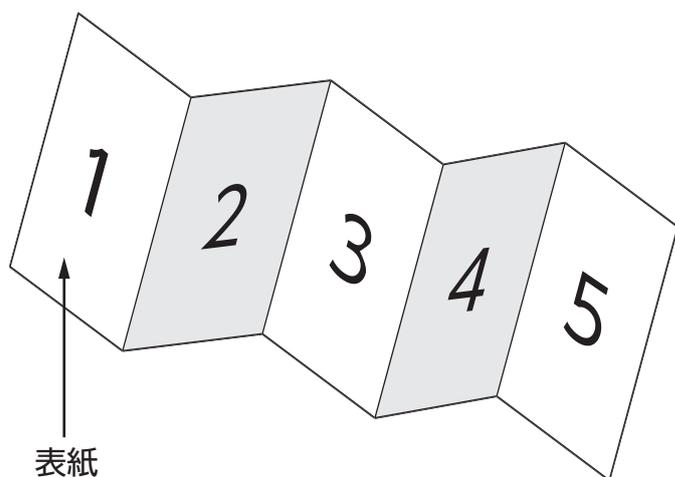
《ミュージカル》

【用意するもの】 ・各ページ A4サイズにコピーした楽譜 ・製本用テープ
【完成イメージ】 ・ジャバラ折り (広げたら1枚の長い紙になるように、WやMのような形に折る)。
・楽譜1ページ目の裏面が表紙となるよう、曲目、コース、氏名等を記入する。

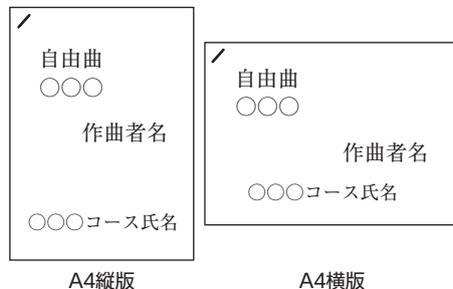
【注意ポイント】

- ◎ 書き込みのない、きれいな楽譜を用意すること。伴奏者が演奏しやすい様に体裁を整える等、配慮のうえ提出してください。
→ただし、ブレスの位置、特殊な演奏箇所 (accel.、rubato、極端な間、等)、特に合わせてもらいたい部分には要望を書き込んで良い。
- ◎ 全ページ片面コピー。両面コピー不可。
→楽譜はA4、B4等の規格サイズで出版されていないことが多いので、途中で楽譜が切れたりしないように、拡大縮小を工夫すること。
- ◎ 楽譜と楽譜の間の接着は、製本用テープを使用すること。(スコアテープ、紙テープ、サージカルテープ等無地のもの)
→隙間を空けないように上から下までしっかり留めること。

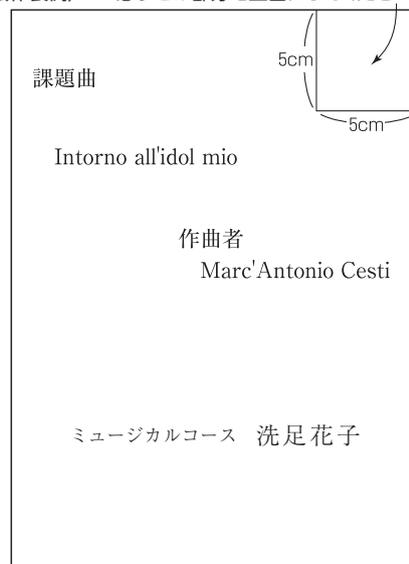
《伴奏譜作製例》



《表紙作製例》



《表紙作製例》 必ずこの部分を空白にしてください。



1ページ裏面には、曲目・作曲者名・志望コース名・氏名を記入するとともに、課題曲または自由曲の別を明記してください。
2ページ以降ジャバラ折りにしてください。

譜例・課題譜等

管楽器コース (木管) スケール譜例

1. フルート

次のスケールをタンギングで演奏する。

$\text{♩} = 120ca.$

G-dur 

g-moll 

2. オーボエ

Moderato

D-dur 

c-moll 

3. クラリネット

Moderato

A-dur 

fis-moll 

4. ファゴット

Moderato

B-dur 

g-moll 

5. サクソフォーン (アルト・バリトン in E^b) (ソプラノ・テナー in B^b)

次のスケールをスラーまたはタンギングで演奏する。

Moderato

Es-dur 

c-moll 

管楽器コース (金管) スケール譜例

1. ホルン (in F)

Moderato

C-dur (実音)

Moderato

b-moll (実音)

2. トランペット (in B^b)

Moderato

As-dur (実音)

Moderato

g-moll (実音)

3. トロンボーン

♩=80

G-dur

♩=80

f-moll

4. バストロンボーン

♩=80

Ges-dur

♩=80

d-moll

5. ユーフォニアム

♩=80

As-dur (実音)

♩=80

g-moll (実音)

6. テューバ

♩=80

G-dur (実音)

♩=80

g-moll (実音)

打楽器コース スケール譜例

1 マリンバ

Allegretto ♩=108ca.

Musical notation for the first scale exercise on the marimba, consisting of two staves. The tempo is marked *Allegretto* with a quarter note equal to 108 ca. The notation shows a scale in 2/4 time, starting on C4 and ascending to C5, then descending back to C4.

Allegretto ♩=108ca.

Musical notation for the second scale exercise on the marimba, consisting of four staves. The tempo is marked *Allegretto* with a quarter note equal to 108 ca. The notation shows a scale in 2/4 time, starting on C4 and ascending to C5, then descending back to C4.

ロック&ポップスコース

● 基礎打ち譜例

ドラム・パーカッション

1) シングルストローク

Three staves of musical notation for single strokes. The first staff shows a sequence of quarter notes with the following R/L patterns: R L R L, R L R L, R L R L R L, R L R L R L R L. The second staff shows triplet patterns (three eighth notes) with R/L patterns: R L R L R L R L R L, R L R L R L R L R L, R L R L R L R L R L R L, R L R L R L R L R L R L. The third staff shows sextuplet patterns (sixteenth notes) with R/L patterns: R L R L R L R L R L R L R L R L R L R L, R L R L R L R L R L R L R L R L R L R L.

2) ダブルストローク

Three staves of musical notation for double strokes. The first staff shows a sequence of quarter notes with the following R/L patterns: R R L L, R R L L, R R L L R R L L, R R L L R R L L. The second staff shows triplet patterns (three eighth notes) with R/L patterns: R R L L R R L L R R L L, R R L L R R L L R R L L, R R L L R R L L R R L L R R L L, R R L L R R L L R R L L R R L L. The third staff shows sextuplet patterns (sixteenth notes) with R/L patterns: R R L L R R L L R R L L R R L L R R L L, R R L L R R L L R R L L R R L L R R L L R R L L.

譜例・課題譜等

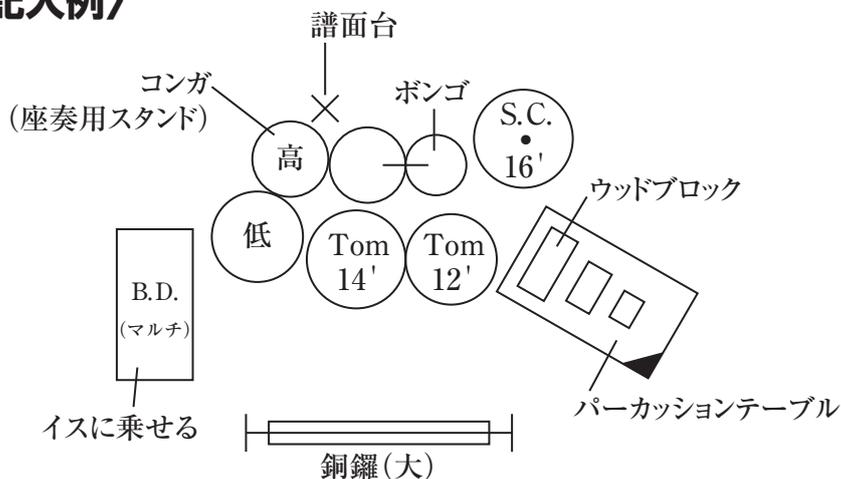
打楽器コース 楽器配置図記入例

※打楽器の専門実技の使用楽器・楽器配置図について以下に記入してください。

使用するマリimbaを選択し、○をつけてください。

[コオロギパーフェクション 4 oct. 1/2 (F-C) ・ コオロギパーフェクション 5 oct. (C-C)]

〈記入例〉



※使用する楽器を以下に記入してください。

使用楽器 (スタンド含む) ※1

〈記入例〉

- Tom (12'・14')
- Tom スタンド
- ボンゴ
- ボンゴスタンド
- コンガ (高・低)
- B. D. (マルチ)
- S. C. (16')
- S. C. スタンド
- 銅鑼 (大)
- 銅鑼スタンド
- パーカッションテーブル

持ち込み楽器 ※2

- ウッドブロック×3
- コンガ座奏用スタンド×2

※1 この欄に記入したマリimba及びマルチパーカッションは大学で用意します。

※2 自分で持ち込む楽器がある場合は記入してください (特殊楽器・小物楽器に限る)。

① 夏の夜の夢 (第五幕第一場)

ウィリアム・シェイクスピア作
河合祥一郎訳

〈男女共通〉パック (第五幕第一場)

影にすぎない我らの舞台、
お気に召さずば、こう思って頂きたい。
皆様、ここで眠ってたのだと。
おかしい夢を見たのだと。
取るに足らない、つまらぬ話、
夢のように、たわいもなし。
どうか皆様、お赦しを
頂きますれば、喜び、ひとしお。
おいらパックは正直者。
野次や批判は嫌なもの。
お叱りなくば、こりゃ幸せ。
いずれしますよ、埋め合わせ。
しなきゃ、嘘つきとお呼びください。
それでは、皆様、おやすみなさい。
ご厚意あらば、拍手をどうぞ。
そしたらロビンはお礼を言うぞ。

② 十二夜

ウィリアム・シェイクスピア作
河合祥一郎訳

〈男〉オーシーノ (第一幕第一場)

音楽が恋の糧なら、続けてくれ。
嫌というほど味わえば、さすがの恋も飽きがきて、
食欲も衰え、なくなるかもしれぬ。
今のところをもう一度。消え入るような調べであった。
ああ、この耳に響くその甘い調べ、まるで
薫咲き誇る丘を吹く風が、香りを盗んで
運んでくるようだ。もういい、やめろ、うんざりだ。
もはや甘くはない。耳障りだ。
ああ、恋よ。お前はなんて瑞々しく貪欲なんだ！
海のように何もかも呑み込み、
限りを知らぬ。そこに入れば、
どんな高みを舞う偉大な者でも、
その力や価値を、たちまちにして
失うのだ！ 恋は真に変幻自在、
心が生み出す幻だ！

〈女〉ヴァイオラ (第二幕第二場)

指輪なんて置いてこなかったのに。どういうこと？
まさか、この外見に惚れたなんてことありませんように！
私をしげしげとご覧になっていた。そう言えば、
見とれて言葉を失うという感じだった。
話す言葉もとぎれとぎれで脈絡がなかったし。
私に惚れたんだ、間違いない。その思いの丈を巧みにも、
あの無礼な使いをよこして伝え、私に誘いをかけたんだ。
指輪など要らないですって？ そんなものあげちゃいけないもの。
お目当ての男は私なんだ。もしそうなら—実際そうなんだから、
可哀想なお嬢様、夢に恋したほうがまし。
なんて罪作りなのかしら、変装って。
悪魔も、見かけをごまかして人を騙す。
ハンサムな悪党なら、ロウのように柔らかい女の心に
いともたやすくその姿を刻みつけてしまう！

オンライン入試について

オンライン受験の事前準備

オンライン入試は、Google Classroom 及び Google Meet を使用して実施します。Web 出願が完了した後、本学より Web 出願システム (大学出願ネット) を通じて、受験用 Google アカウント情報をお送りします。

【Google Classroom とは】

Google 社が無料で提供する教育プラットフォームです。教員 (本学) は「Class」と呼ばれる「教室空間」を設けることができ、生徒 (受験者) は「課題の提出」等を簡単に行うことができます。

【Google Meet とは】

Google Meet は、Google 社が無料で提供するビデオ会議ツールです。

本学のオンライン入試は、この Google Classroom 及び Google Meet の機能を利用して実施致します。

※パソコンを使用する場合は、必ず Web カメラ・マイク・スピーカー (ヘッドフォン・ヘッドセットでも可) が内蔵または付属されている機種を使用してください。

※パソコン・スマートフォン・タブレットの OS やブラウザは、最新のものを利用してください。

※スマートフォンまたはタブレットを利用する場合は、事前にアプリのインストールが必要です。



【スマートフォン・タブレットへの Classroom 及び Meet のインストール方法】

● Android の場合

Android デバイスで Classroom を使用するには、Google Play から Classroom 及び Meet アプリをダウンロードします。

1. デバイスで [Play ストア] をタップします。
2. Google Classroom、Google Meet アプリを検索してインストールします。

● iPhone、iPad の場合

iPhone や iPad で Classroom を使用するには、Apple® App Store® から Classroom 及び Meet アプリをダウンロードします。

1. デバイスで [App Store] をタップします。
2. Google Classroom、Google Meet アプリを検索してインストールします。

注: Classroom アプリは Microsoft® Windows® のモバイルデバイスでは利用できません。

1. Google Classroomの初期設定

- ① 出願が完了すると、本学より受験用 Google アカウントと、コース別専門実技試験の動画提出用のクラスコードを通知します(動画の提出が不要なコースもありますので、詳細はコース別試験科目P.19～42を確認してください)。
- ② Google Classroom 公式サイトにアクセスまたは、アプリを起動します。

パソコンの場合



スマートフォン・タブレットの場合



- ③ ①の Google Classroom 用アカウントでログインします。

パソコンの場合



スマートフォン・タブレットの場合



- ④ ログインが完了すると、Classroom のホーム画面が表示されます。これで、Google Classroom を利用するための初期設定は完了です。

2. その他

日本国外に居住している等の理由で、Google アカウントでアクセスすることが難しい場合は、本学入試センターまでお問い合わせください。

※日本国内に居住している方は、原則 Google Classroom を利用して受験をお願い致します。

テスト接続及び受験方法確認

出願時にオンライン入試を選択した方は、必ず試験前日までにオンライン受験の手順確認及び Google Classroom・Google Meet へのテスト接続を行ってください。

受験手順確認用の URL 及びテスト接続の日時・接続先等については、出願締切後、大学出願ネットを通じてお知らせします。

コース別専門試験

コース別専門試験は、動画審査となります。以下の注意事項を確認の上、動画の作成・提出を行ってください。

1. 動画の提出期限

入試区分	出願開始	出願締切	Google Classroom用アカウント 及びクラスコード通知日程	動画提出期限	面接・小論文等のオンライン試験日
学部3年次 編入学	2022年 1月11日(火)	2022年 1月25日(火)	2022年 1月28日(金)	2022年 2月2日(水) 午前9時	2022年 2月11日(金・祝)・12日(土)

2. 提出動画の作成(撮影)方法

- ① 動画撮影にあたり、使用する撮影機材等の指定はありません。スマートフォンや、一般的なビデオカメラで撮影した動画で問題ありません。
- ② 動画のファイル形式(拡張子)は、「.mp4」「.mov」のいずれかで提出してください。それ以外のファイル形式は、受け付けることができません。
【例】iPhoneで撮影した場合:「.mov」のファイル形式となります。
Androidで撮影した場合:「.mp4」のファイル形式となります。
※一部の機種では、上記のファイル形式で保存されない場合がありますので、提出する前に必ず確認を行ってください。
- ③ 提出動画の長さ(分数)はコース毎に異なりますので、P.19～42の「コース別専門試験科目」を確認してください。
- ④ 撮影後は任意の方法で保存してください(携帯やPCへの保存、Google Drive等のクラウドストレージ、YouTube等)

3. 動画撮影時の注意事項(全コース共通事項)

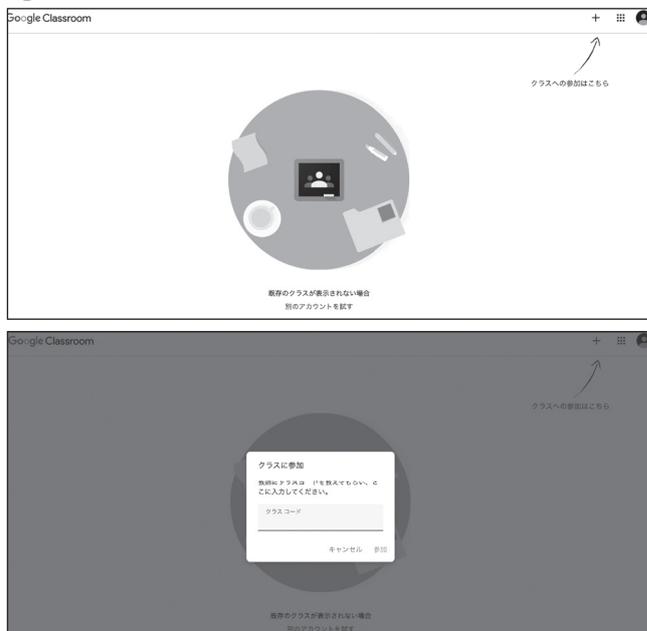
- ① はじめに、カメラに向かって志望コース・氏名・最終学歴(学校名等)を述べてください。
- ② 基本的に、全身が映るように撮影を行ってください。撮影環境により、やむを得ず全身を映すことが難しい場合は、演奏やプレゼンテーションの内容がはっきりと確認できるように撮影を行ってください。
- ③ 演奏動画の編集・加工は行わないでください。
- ④ カメラは固定とします。

4. 動画の提出方法

撮影した動画は、Google Classroom にアップロードして提出していただけます。

- ① Google Classroom にログインしてください。
- ② クラスコードを入力して、「参加」をクリックしてください。

パソコンの場合



スマートフォン・タブレットの場合

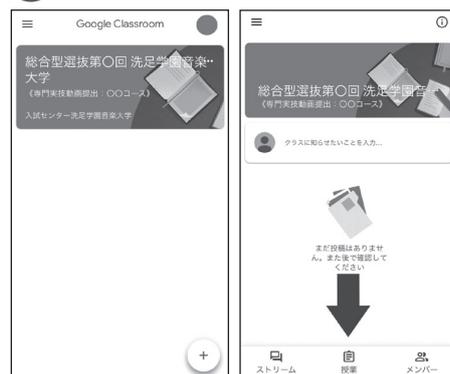


- ③ 出願した入試及びコースの、クラスの初期画面が表示されます。「授業」のタブを選択し、出願したコースの「課題を表示」を選択してください。

パソコンの場合 (例)



スマートフォン・タブレットの場合 (例)



- ④ 動画を送信するには、[あなたの課題] ⇒パソコンの場合：[追加または作成]、スマートフォン・タブレットの場合：[添付ファイルを追加] を選択します。次に、動画の保存方法によって [Google ドライブ]、[リンク]、または [ファイル] を選択します。

添付するファイルまたは Google Drive を選択するか、YouTube 等のリンクの URL を入力して [追加] をクリックします。

注：自分がオーナーではないファイルを追加することはできません。

パソコンの場合



スマートフォン・タブレットの場合



にオンライン入試

- ⑤ [提出] を選択して確定します。「課題」のステータスが [提出済み] に変わります。

動画提出時の注意事項

- ・ [提出] を選択した時にエラーメッセージが表示される場合は、入試センターまで連絡してください。
- ・ 動画の提出（アップロード）は、1 回限り可能です。一度提出した後の変更及び再提出はできませんので、十分注意してください。
- ・ 動画のアップロードには時間を要します。時間に余裕をもって提出してください。
- ・ 動画のアップロードは、通信の安定した環境で行ってください。
- ・ YouTube 等の動画サイトを使用する場合は、必ず「限定公開」としてください。
- ・ 動画ファイルは、zip ファイルでのアップロードはできません。

面接

1. 受験の事前準備

- ・ スマートフォン・タブレット・パソコン*のいずれかを用意してください。
- ・ 試験中に第三者が立ち入らない静かな環境を確保の上、受験してください。
※パソコンを使用する場合は、必ず Web カメラ・マイク・スピーカー（ヘッドフォン、ヘッドセットでも可）が内蔵または付属されている機種を使用してください。
Web 出願後に発行される受験票を出力の上、手元に用意してください。

2. 試験の実施方法

面接は、Google Classroom 及び Google Meet を使用して実施します。

試験の 2 日前までに、Web 出願システム（大学出願ネット）を通じて面接用のクラスコードをお知らせします。

アカウント通知日から試験前日までの間に、Google Classroom 及び Google Meet への接続確認を行ってください。試験当日に、アクセス方法が分からない、カメラが映らない等が起こらないようにしてください。接続確認の方法については、アカウント通知時にお知らせします。

3. 受験方法

- ① 試験当日の集合時刻までに、P.51の「オンライン受験の事前準備」と同様の手順で、Google Classroomにアクセスしてください。試験当日の集合時刻等は、試験2日前までにお知らせします。
- ② 面接用のクラスコードを入力後、Google Meetにアクセスしてください。

パソコンの場合 (例)

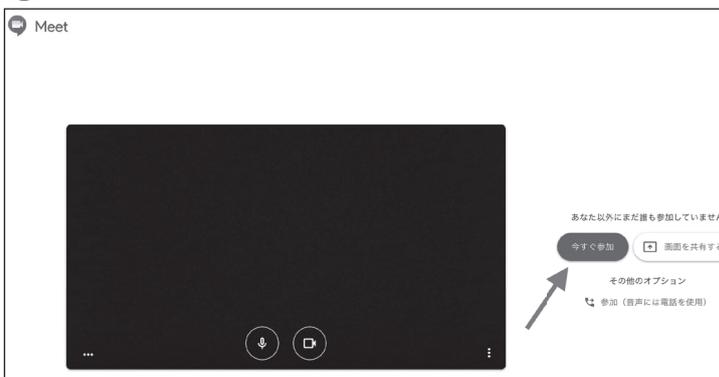


スマートフォン・タブレットの場合 (例)



- ③ Google Meetの「今すぐ参加」または「会議に参加」を選択してください。その際、スマートフォン・タブレット・パソコンのカメラ及びマイクがオンになっていることを必ず確認してください。

パソコンの場合



スマートフォン・タブレットの場合



- ④ 面接員が入室するまで待機してください。面接員入室後、指示に従い面談を受験してください。

4. オンライン面接に関する注意事項

- ・面接実施中、本学はGoogle Meetを使用して面接の様子を録画します。
- ・試験実施中、試験画面以外の閲覧は禁止します。
- ・試験画面の録画及びスクリーンショットの使用は禁止します。
- ・カメラは、顔全体がはっきりと映るよう設置してください。
- ・オンラインで受験する場合、マスクの着用は認められません。

【受験中に以下の内容が確認された場合は、即時失格となります】

- ・受験生が画面から外れたり、受験生以外の第三者が画面上に確認された場合。
- ・不審な動き等が確認された場合。
- ・Google Meetに他のユーザーを招待した場合。

5. その他

- ・受験の際に発生する通信料は、受験生にご負担いただきます。予めご了承ください。

【小論文・作文（吹奏楽指導者マスタークラス）

通常入試（対面式）・オンライン入試共通の入試問題となります。

1. 受験の事前準備

- ・パソコン※1を用意してください。これらの試験では、スマートフォン・タブレットの利用は認められません。
- ・小論文・作文用試験のGoogle Classroomからダウンロードした原稿用紙のPDFデータを、A4版（2枚）で印刷してください。※2
- ・試験中に第三者が立ち入らない静かな環境を確保の上、受験してください。
 - ※1 必ず、Web カメラ・マイク・スピーカー（ヘッドフォン、ヘッドセットでも可）が内蔵または付属されている機種を使用してください。
 - ※2 これらのクラスコードは、試験日の2日前までにお知らせします。

2. 試験の実施方法

- ① 小論文及びコース別専門試験における作文の試験は、Google Classroom及びGoogle Meetを使用して実施します。試験日の2日前までに、Web出願システム（大学出願ネット）を通じて試験用のクラスコードをお送りします。
- ② 試験は、1つのClassroomに複数の志願者が入室した状態で行われます（出願状況によっては、この限りではありません）。
- ③ 試験実施中は、Google Meetにより本学の試験監督員と常時オンラインで接続された状態となります（カメラを使用します）。

3. 受験方法

パソコンを利用します。

- ① 試験当日の集合時刻までに、P.51の「オンライン受験の事前準備」と同様の手順でGoogle Classroomにアクセスしてください。試験当日の集合時刻等は、試験2日前までにお知らせします。
- ② それぞれの試験用のクラスコードを入力後、Google Meetにアクセスしてください。
- ③ Google Meetの「今すぐ参加」を選択してください。その際、カメラがオンになっていることを必ず確認してください。参加後、試験監督員の指示があるまで待機してください。
 - ※Google Meetに他のユーザーを招待した場合や、チャット機能を利用した場合は即時失格となりますので、十分注意してください。
- ④ 試験監督員の入室後、出席確認・注意事項等の説明・顔写真照合等を行います。
- ⑤ 試験監督員の指示に従い、Google Classroomから試験問題URLにアクセスしてください。
- ⑥ 試験開始直前に、試験監督員よりGoogle Meetを通じて論題開封用のパスワードが提示されます。
- ⑦ 指示に従い、試験を開始してください。
- ⑧ 試験中は、Google Meetを通じて、常時オンラインで大学（試験監督員）と接続された状態を維持してください。カメラをオフにした場合、失格となります。
- ⑨ 試験終了後、速やかに解答用紙を撮影またはスキャンし、写真データまたはPDFデータでGoogle Classroomに提出してください。
 - ※解答用紙の撮影・スキャン・提出時のみ、スマートフォンまたはタブレットの使用を認めます。

4. 小論文・作文受験に関する注意事項

- ・試験実施中、本学はGoogle Meetを使用して試験の様子を録画します。
- ・辞書やメモ用紙の利用は禁止します。
- ・試験実施中、試験画面以外の閲覧は禁止します。
- ・試験画面の録画及びスクリーンショットの使用は禁止します。
- ・カメラは、顔全体がはっきりと映るよう設置してください。
- ・オンラインで受験する場合、マスクの着用は認められません。

【受験中に以下の内容が確認された場合は、即時失格となります】

- ・受験生が画面から外れたり、受験生以外の第三者が画面上に確認された場合。
- ・不審な動き等が確認された場合。
- ・Google Meetのチャット機能を使用した場合。
- ・Google Meetに他のユーザーを招待した場合。

5. その他

- ・受験の際に発生する通信料は、受験生にご負担いただきます。予めご了承ください。

【コース別専門試験における、感覚テスト（音楽環境創造コース）

通常入試（対面式）・オンライン入試共通の入試問題となります。

1. 受験の事前準備

- ・パソコン*を用意してください。感覚テストでは、スマートフォン・タブレットの利用は認められません。
- ・試験中に第三者が立ち入らない静かな環境を確保の上、受験してください。
※必ず、Webカメラ・マイク・スピーカー（ヘッドフォン、ヘッドセットでも可）が内蔵または付属されている機種を使用してください。
- ・Web出願後に発行される受験票を出力の上、手元に用意してください。

2. 試験の実施方法

- ① 感覚テストのオンライン入試は、Google Classroom 及びGoogle Meet を使用して実施します。
試験日の2日前までに、Web出願システム（大学出願ネット）を通じて感覚テスト用のクラスコードをお知らせします。
※受験用Googleアカウントは、P.51でお知らせしたものと同じです。
- ② 試験は、1つのClassroom に複数の志願者が入室した状態で行われます（出願状況によっては、この限りではありません）。
- ③ 試験実施中は、Google Meet により本学の試験監督員と常時オンラインで接続された状態となります（カメラを使用します）。

3. 受験方法

パソコンを利用して解答していただきます。

- ① 試験当日の集合時刻までに、P.51の「オンライン受験の事前準備」と同様の手順で、Google Classroom にアクセスしてください。試験当日の集合時刻等は、試験2日前までにお知らせします。
- ② 感覚テスト用のクラスコードを入力後、Google Meet にアクセスしてください。
- ③ Google Meet の「今すぐ参加」を選択してください。その際、カメラがオンになっていることを必ず確認してください。
参加後、試験監督員の指示があるまで待機してください。
※Google Meet に他のユーザーを招待した場合や、チャット機能を利用した場合は即時失格となりますので、十分注意してください。
- ④ 試験監督員の入室後、出席確認・注意事項等の説明・顔写真照合等を行います。
- ⑤ 試験監督員の指示に従い、Google Classroom から試験問題URL にアクセスしてください。
- ⑥ 試験開始直前に、試験監督員よりGoogle Meet を通じて試験問題開封用のパスワードが提示されます。
- ⑦ 指示に従い、試験を開始してください。

- ⑧ 試験中は、Google Meet を通じて、常時オンラインで大学（試験監督員）と接続された状態を維持してください。カメラをオフにした場合、失格となります。

4. 感覚テスト受験に関する注意事項

- ・試験実施中、本学は Google Meet を使用して試験の様子を録画します。
- ・試験実施中、試験画面以外の閲覧は禁止します。
- ・試験画面の録画及びスクリーンショットの使用は禁止します。
- ・カメラは、顔全体がはっきりと映るよう設置してください。
- ・オンラインで受験する場合、マスクの着用は認められません。

【受験中に以下の内容が確認された場合は、即時失格となります】

- ・受験生が画面から外れたり、受験生以外の第三者が画面上に確認された場合。
- ・不審な動き等が確認された場合。
- ・Google Meet のチャット機能を使用した場合。
- ・Google Meet に他のユーザーを招待した場合。

5. その他

- ・受験の際に発生する通信料は、受験生にご負担いただきます。予めご了承ください。

洗足学園音楽大学入試センター